



トヨタ ウェルキャブシリーズ



ウェルキャブ(サイドリフトアップシート車-脱着タイプ) 取 扱 書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

ALPHARD VELLFIRE



イラスト目次

イラストから検索

1 安全・安心のために

お客様に必ずお読みいただきたいこと

2 サイドリフトアップシート（脱着タイプ）

サイドリフトアップシート（脱着タイプ）に関する説明

3 手動車いす用固定装置

手動車いす用固定装置に関する説明

4 お手入れのしかた

ウェルキャブ装備のお手入れに関する説明

5 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

6 点検・整備項目

定期点検整備についての説明

さくいん

症状から検索

音から検索

五十音で検索

イラスト目次	4
本書の見方	8

1 安全・安心のために

1-1. 安全なドライブのために

サイドリフトアップシート (脱着タイプ) について	10
車いすの固定について	17
車両・車両のバッテリー〈補機 バッテリー〉について	18

2 サイドリフトアップシート (脱着タイプ)

2-1. サイドリフトアップシート (脱着タイプ)

サイドリフトアップシートの 調整	20
ヘッドレスト	23
アームレスト	25
フットレスト	27
シートベルト	29
正しい乗車姿勢	30
操作スイッチ	32

2-2. 乗降操作のしかた

サイドリフトアップシート・ リフターの操作を するときは	34
サイドリフトアップシートを 車外に出すときは	42
リフターを車内に もどすときは	47
リフターを車外に出すときは ..	49
サイドリフトアップシートの リフターへの装着	52
サイドリフトアップシートを 車内にもどすときは	54

2-3. サイドリフトアップシートを 車いすとして使用するとき

ブレーキ	59
コントロールパネル/ ジョイスティック (電動式)	60
バッテリーの充電 (電動式) ...	67
バッテリーのサイドリフト アップシートへの装着 (電動式)	77

2-4. セカンドシート

運転席側セカンドシートに ついて	79
---------------------------	----

2-5. サードシート

助手席側サードシートに ついて	80
--------------------------	----

2-6. 安全にお使いいただくために

チャイルドシート	81
----------------	----

3 手動車いす用固定装置

3-1. 手動車いす用固定装置

車いすの収納・固定前の準備 ..	84
車いす固定ベルト	87

3-2. 車いすの収納・固定

固定・解除のしかた	91
-----------------	----

4 お手入れのしかた

4-1. お手入れのしかた

サイドリフトアップシート・
リフターの手入れ..... 96

5 万一の場合には

5-1. 故障かな？とお考えになる前に

ヒューズの交換 100
サイドリフトアップシート・
リフターが動かない
ときは 102

5-2. 緊急時の対処法

サイドリフトアップシート・
リフターが車外に出た状態で
動かないときは 104

6 点検・整備項目

6-1. 点検・整備項目

定期点検整備 120

さくいん

こんなときは
(症状別さくいん) 124
車から音が鳴ったときは
(音さくいん) 128
五十音順さくいん 130

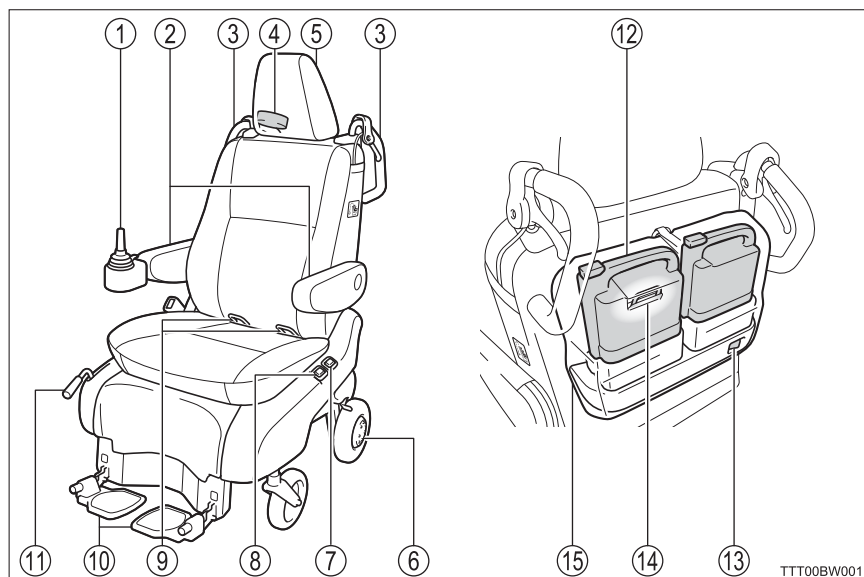
本書はウェルキャブ（サイドリフトアップシート車-脱着タイプ）の装備について記載しています。

車両全体の取り扱い方法や注意事項などは、必ず別冊の標準車取扱書をお読みください。

ただし、ウェルキャブ（サイドリフトアップシート車-脱着タイプ）の装備により、お車と標準車取扱書の仕様や機能が一致しない場合がありますのでご了承ください。

イラスト目次

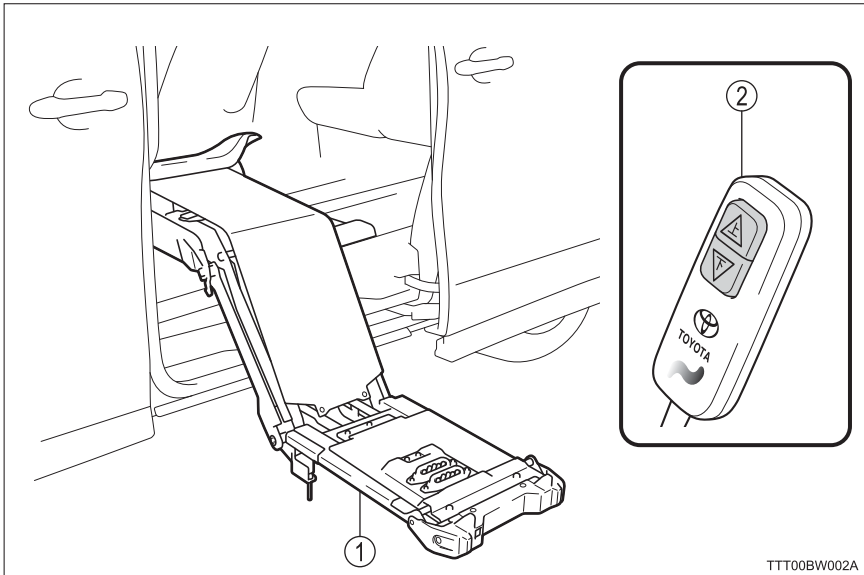
■ サイドリフトアップシート（脱着タイプ）



①	ジョイスティック※	P.60
②	アームレスト	P.25
③	ハンドル・介助ブレーキ	P.59
④	コントロールパネル※	P.60
⑤	ヘッドレスト	P.23
⑥	ホイールインモーター※	
⑦	シートリクライニングスイッチ	P.20
⑧	シート前後スライドスイッチ	P.20
⑨	ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー	P.15
⑩	フットレスト	P.27
⑪	フロントハンドブレーキ	P.59
⑫	バッテリー※	P.67
⑬	手動／電動切替スイッチ※	P.61
⑭	トップテザーアンカー	P.81
⑮	バッテリーカバー※	P.77

※：電動式のみ

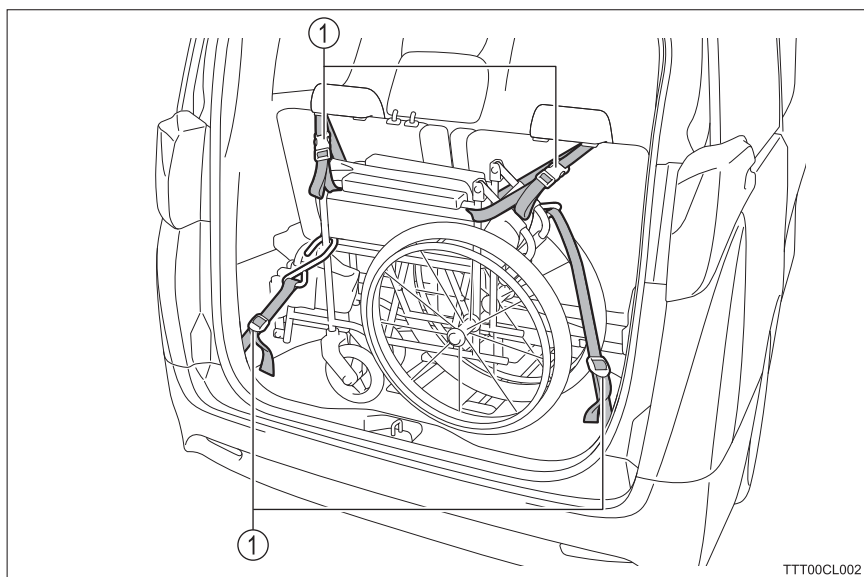
■ リフター



TTT00BW002A

- ① リフター
 - 上昇 P.47
 - 下降 P.49
 - 手入れ P.97
- ② 操作スイッチ P.32
 - リセットについて P.104

■ 手動車いす用固定装置



① 車いす固定ベルト	P.87
固定・解除のしかた	P.91

本書の見方



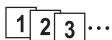
警告

お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



注意

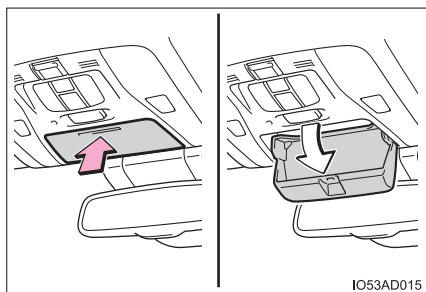
お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

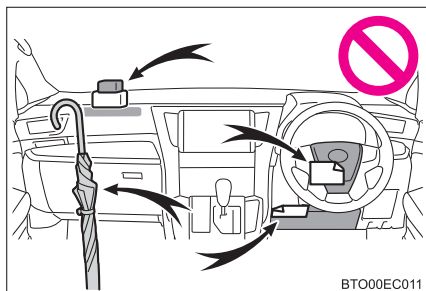
➡ フタが開くなど、操作後の動作を示しています。



IO53AD015

➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



BTO00EC011



知識

機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

■ハイブリッド車特有の記載について

ハイブリッド車特有の部品名称やスイッチ名称を“〈○○○〉”で表示しています。(〈補機バッテリー〉など)

安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

1-1. 安全なドライブのために

サイドリフトアップシート （脱着タイプ）について	10
車いすの固定について	17
車両・車両のバッテリー〈補機 バッテリー〉について	18

サイドリフトアップシート（脱着タイプ）について

- 本書におけるウェルキャブ（サイドリフトアップシート車-脱着タイプ）の操作はすべて介助の方が行ってください。
- この項目では、サイドリフトアップシート（脱着タイプ）について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

⚠警告

■ 停車場所およびサイドリフトアップシート・リフターを操作するときは

- 安全に操作でき、サイドリフトアップシートを車外に降ろせるスペース（1650mm以上）が確保できる平坦な場所に停車してください。

不整地や傾斜地では車いす・サイドリフトアップシートからの転落や、車いす収納時に車いすが傾いて体や車両にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

また、サイドリフトアップシートの脱着ができなかったり、狭い場所では車両に乗降できなくなったり、不整地や傾斜地では車いすの収納が困難になります。

- ① サイドリフトアップシート昇降・脱着スペース 1650mm 以上

- ② シフトレバーをPの位置にする

- ③ パーキングブレーキを確実にかける

パーキングブレーキがオートモードのときは、シフトレバーをPの位置にしたときに、自動でパーキングブレーキがかかります。（→標準車取扱書の「運転のしかた」）

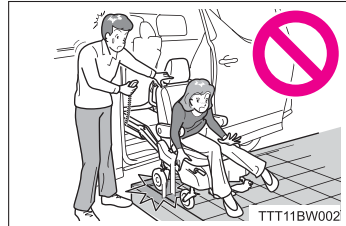
- サイドリフトアップシートを車外に出すときは、歩行者や自転車の有無など、周囲の安全を確認してから操作してください。
周囲の安全を確認せずに操作すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。



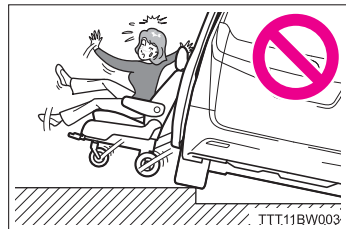
警告

- 重大な傷害を受けるおそれがあり危険ですので、次のような場所ではサイドリフトアップシートの脱着をしないでください。
サイドリフトアップシートが引き出しにくかったり、急に動き出したり、サイドリフトアップシートとリフターが破損するおそれがあります。
また、サイドリフトアップシートの車輪が接地する前に後輪のブレーキがかかっていることを確認してください。

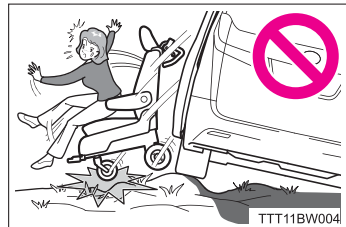
▶ 段差のある路面での操作禁止



▶ 路肩に乗り上げた状態での操作禁止

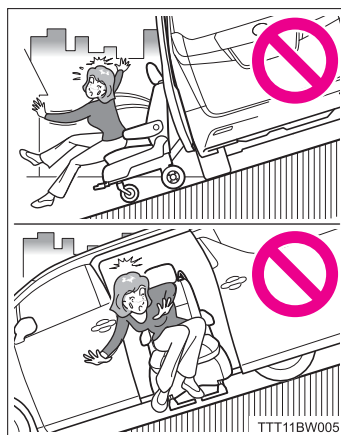


▶ 整備されていない道（じゃり道・雪道など）での操作禁止



警告

▶ 傾斜のある路面での操作禁止

**■ サイドリフトアップシート・リフターを操作する前に**

- サイドリフトアップシートの接地面周辺に障害物がないことを確認してください。

障害物があるとサイドリフトアップシートの脱着ができなくなるだけでなく、サイドリフトアップシートを損傷したり、けがをするなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



- 助手席側サードシートに乗員がいないことを確認してください。

サイドリフトアップシートやリフターに巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



警告

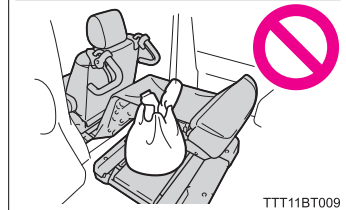
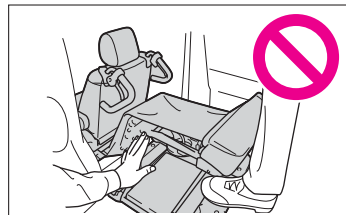
■ サイドリフトアップシート・リフターを操作するときは

- 正しい姿勢で乗車してください。
(→ P.30)
- 必ず助手席側スライドドアを全開にしてください。
- 乗員の体について十分な安全確認をしてください。
サイドリフトアップシートを回転・昇降させるときに頭や手足をドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ① ドア開口部と頭部の接触到に注意する
- ② ドア開口部とアームレストのすき間に挟まれないように注意する
- ③ ドア開口部と足の接触到に注意する

- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。

- サイドリフトアップシート・リフター作動時、サイドリフトアップシート・リフターのおよび周辺に手足や荷物を入れないでください。
手足を挟まれけがをしたり、荷物を損傷するおそれがあります。



警告

■ サイドリフトアップシート・リフターを車内に格納したときは

サイドリフトアップシートが確実に格納されているか確認してください。

確実に格納されていないと、走行中にサイドリフトアップシートが動き、思わぬ事故の原因になって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

正常格納時：格納完了時、“ピピッ”とブザーが鳴ります。

異常格納時：格納不良のまま助手席側スライドドアを全開位置から動かすと“ピーピー”という断続音が鳴ります。

異常格納時は、助手席側スライドドアを全開にしてから操作スイッチの「上」を押し続け、格納を完了させてください。

格納不良のままだと車両のバッテリー〈補機バッテリー〉あがりの原因にもなります。



TTT11BW010

■ サイドリフトアップシート乗員のシートベルトの着用

走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。（→標準車取扱書の「シートベルト」）

正しく着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートベルトを着用した状態ではスイッチを押してもサイドリフトアップシートは回転・下降作動しません。
- 腰部ベルトは必ずアームレストの下を通してください。

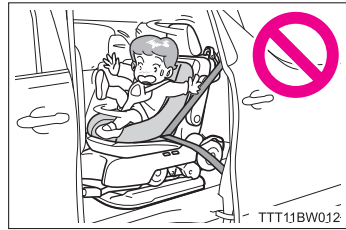


TTT11BW011

警告**■チャイルドシートについて**

- シートベルトでサイドリフトアップシートに固定しているときは、チャイルドシートを装着したまま操作しないでください。

無理にスライドまたはリクライニング操作をすると、サイドリフトアップシートやシートベルトが破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



- ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー&トップテザーアンカーでサイドリフトアップシートに固定しているときは、チャイルドシートを装着したまま操作しないでください。

無理にスライド、リクライニングまたは回転および昇降操作をすると、サイドリフトアップシートやチャイルドシートが破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

(ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー&トップテザーアンカー→標準車取扱書の「チャイルドシート」)



⚠ 注意**■ 損傷・故障を防ぐために**

市販のクッションなどをサイドリフトアップシートに取り付けるときは、サイドリフトアップシートのシートクッションと背もたれのあいだに市販のクッションの取り付け部を挿し込まないでください。



- サイドリフトアップシート昇降作動時、サイドリフトアップシートの可動部などに市販のクッションの取り付け部があたり、市販のクッションの取り付け部およびサイドリフトアップシートを損傷するおそれがあります。
- サイドリフトアップシート昇降作動時、サイドリフトアップシートの可動部などに市販のクッションの取り付け部があたると、サイドリフトアップシートが作動しなくなるおそれがあります。サイドリフトアップシートが作動しなくなったときは、P.104 以降の要領でサイドリフトアップシートを車内にもどし、そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

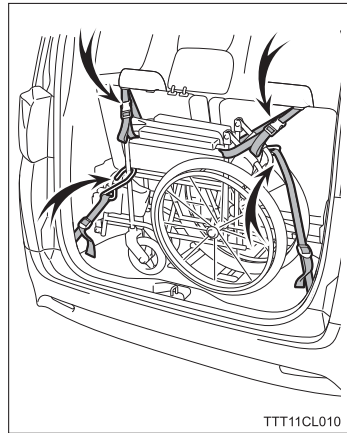
車いすの固定について

車いすの固定について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

警告

■ 車いすの固定確認

確実に固定されているか確認してください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込んだり、車いすが動いて車両や車いすが損傷するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。
また、車いす固定ベルトにねじれがないことも確認してください。



■ 車いす固定ベルトについて

車いす固定ベルトは、サードシートのうしろ側にあることを確認してください。
車いす固定ベルトがサードシート前側にある場合、サードシートに乗車の方の体に巻きつき、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



車両・車両のバッテリー〈補機バッテリー〉について

車両および車両のバッテリー〈補機バッテリー〉について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

知識

■ 車両のバッテリー〈補機バッテリー〉の取り扱いについて

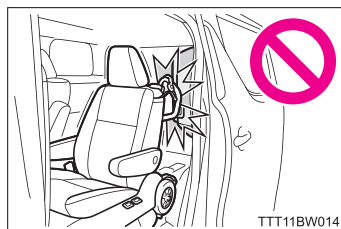
サイドリフトアップシート・リフター操作中に車両のバッテリー〈補機バッテリー〉をはずさないでください。サイドリフトアップシート・リフターが作動しなくなります。

サイドリフトアップシート・リフター操作中に車両のバッテリー〈補機バッテリー〉の交換またははずしたときは、車両のバッテリー〈補機バッテリー〉の接続状態を確認し、リセット操作をしてください。(→ P.104)

注意

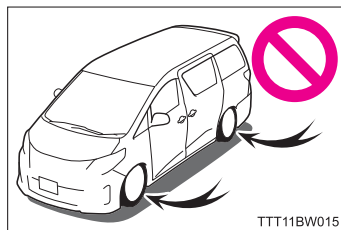
■ 故障・破損を防ぐために

サイドリフトアップシートを車内にもどす前に、助手席側サードシートが格納・前倒しされていないことを確認してください。サイドリフトアップシートのハンドルと助手席側サードシートがあたり、シート・ハンドルの破損や故障の原因になります。



■ 車高変化の禁止

車高が変わる改造をしないでください。サイドリフトアップシート下降時、車輪が開ききる前に接地したり、車輪が開ききっても接地できないため、サイドリフトアップシートをリフターから取りはずすことができなくなります。



サイドリフトアップシート(脱着タイプ)

2

2-1. サイドリフトアップシート (脱着タイプ)

サイドリフトアップシートの調整	20
ヘッドレスト	23
アームレスト	25
フットレスト	27
シートベルト	29
正しい乗車姿勢	30
操作スイッチ	32

2-2. 乗降操作のしかた

サイドリフトアップシート・リフターの操作をするときは	34
サイドリフトアップシートを車外に出すときは	42
リフターを車内にもどすときは	47
リフターを車外に出すときは	49
サイドリフトアップシートのリフターへの装着	52
サイドリフトアップシートを車内にもどすときは	54

2-3. サイドリフトアップシートを 車いすとして使用するとき

ブレーキ	59
コントロールパネル／ジョイスティック (電動式)	60
バッテリーの充電(電動式)	67
バッテリーのサイドリフトアップシートへの装着 (電動式)	77

2-4. セカンドシート

運転席側セカンドシートについて	79
-----------------	----

2-5. サードシート

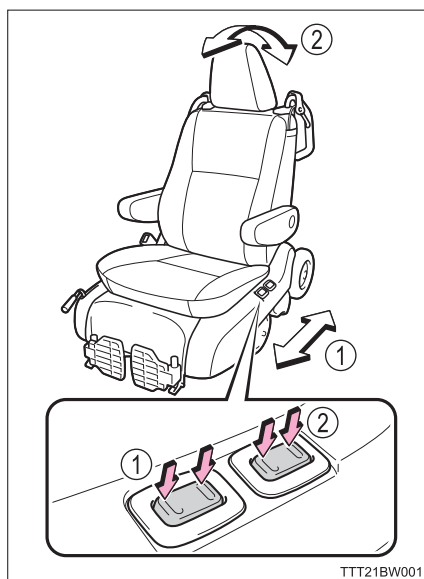
助手席側サードシートについて	80
----------------	----

2-6. 安全にお使いいただくために

チャイルドシート	81
----------	----

サイドリフトアップシートの調整

- ① 前後位置調整
(シート前後スライドスイッチ)
- ② リクライニング調整
(シートリクライニングスイッチ)



知識

■ 作動条件について

サイドリフトアップシートが車内に正常格納されていない状態では、前後位置調整・リクライニング調整はできません。

■ サイドリフトアップシートの前後スライド量について

前後に合計 100mm 移動することができます。

■ シートアレンジについて

- サイドリフトアップシートは左右位置調整をすることはできません。
- サイドリフトアップシートはフラットシートにすることはできません。

警告**リクライニング調整について**

走行中は背もたれを必要以上に倒さないでください。

事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けるなど生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



 **注意****■故障・損傷を防ぐために**

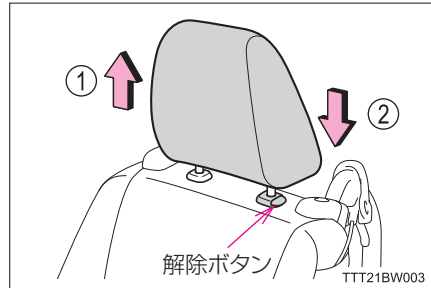
- 前後位置調整・リクライニング調整の作動が完了したらスイッチから指を離してください。
スイッチを押し続けると故障の原因になります。
- スイッチの上にものを置かないでください。
スイッチが押されればなしになり、車両のバッテリー〈補機バッテリー〉あがりの原因になります。
- スイッチに飲み物などをこぼさないでください。
作動不良や故障の原因になります。
- サイドリフトアップシートの背もたれを後方に倒しすぎないでください。
サイドリフトアップシートのハンドルと荷物や助手席側サードシートがあたり、損傷するおそれがあります。
- 次のようなときは、サイドリフトアップシートの背もたれをいちばん前にしてから行ってください。
サイドリフトアップシートのハンドルと助手席側サードシートがあたり、損傷するおそれがあります。
 - ・ 前倒しされた助手席側サードシートの背もたれを起こすとき
 - ・ 助手席側サードシートを格納および着座状態にもどすとき

ヘッドレスト

① 上げる

② 下げる

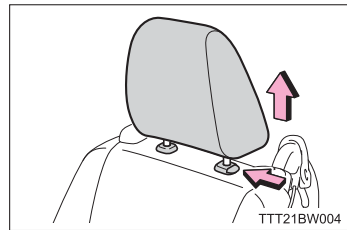
下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



知識

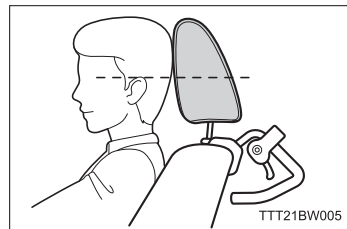
■ヘッドレストを取りはずすときは

解除ボタンを押したまま引き抜きます。



■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるように調整してください。



 **警告****■ヘッドレストについて**

次のことをお守りください。

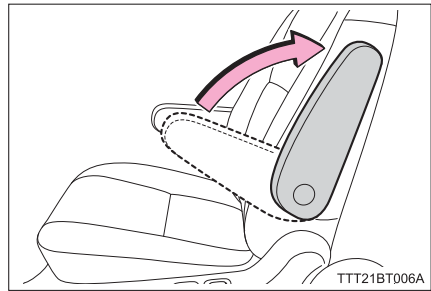
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストは正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない
- ヘッドレストの取り付け・取りはずしをするときは、指を挟むなどけがをす
るおそれがあるため、十分注意する

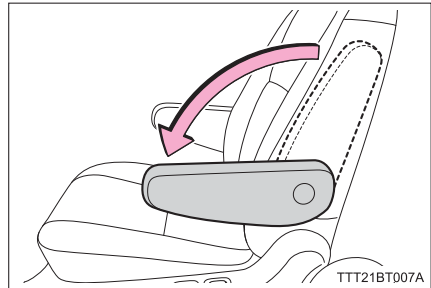
アームレスト

調整のしかた

- 1 アームレストを一度、いちばん上まで持ち上げる

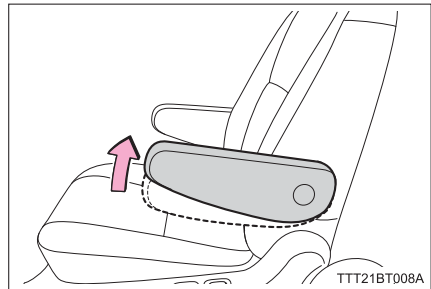


- 2 アームレストをいちばん下まで下げ、アームレストのロックを解除する



- 3 アームレストをお好みの位置まで上げる

- ・アームレストが固定されます。
- ・一度固定されるとその位置から下へは動きません。再調整するときは、最初からやり直してください。



 知識

■ サイドリフトアップシート乗員のシートベルトの着用

アームレストを上げた状態にすると、シートベルトの着用が容易になります。

 警告

■ サイドリフトアップシート乗員のシートベルトの着用

→ P.14

■ サイドリフトアップシートを車いすとして使用するときは

アームレストを下げてください。

アームレストを上げた状態で使用すると上体が不安定になり、サイドリフトアップシートから転落するなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

 注意

■ 右側アームレストの操作をするときは（電動式のみ）

右側アームレストを調整するとき、ジョイスティックのコードを持たないでください。

コードを損傷するおそれがあります。

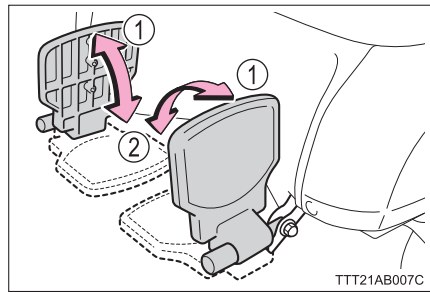
フットレスト

サイドリフトアップシートの回転および昇降操作は、フットレストをいっぱいまで下げた状態で行います。

サイドリフトアップシートの回転・昇降、およびリフターから取りはずしたサイドリフトアップシートでの移動時、必ずフットレストを下げ、乗員の足がフットレストの上ののっていることを介助の方が確認してください。

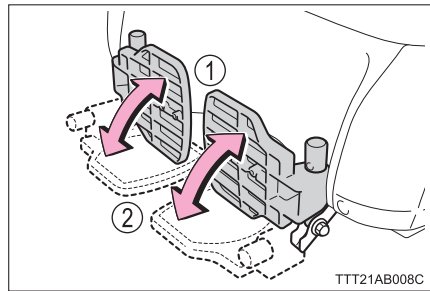
左右に展開・格納するとき

- ① 上げる
- ② 下げる



上下に展開・格納するとき

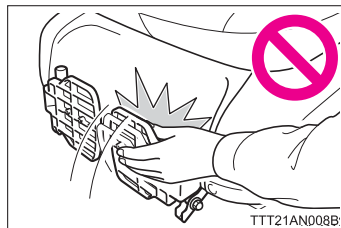
- ① 上げる
- ② 下げる



警告**■フットレストを操作するときは**

必ずフットレスト先端部を持って操作してください。

回転部近くを持つと指などを挟み、けがをするおそれがあります。

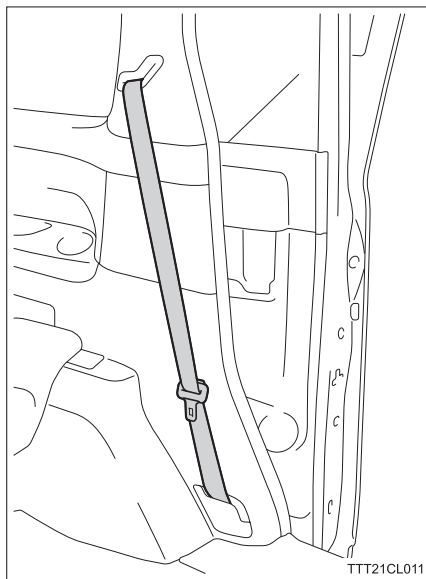


TTT21AN008B

シートベルト

サイドリフトアップシート左側に装備されます。

着用方法は標準車と同様ですので、標準車取扱書の「シートベルト」をお読みください。



正しい乗車姿勢

次のように正しい姿勢で乗車してください。

- ① アームレストを下げ、両腕をアームレストの内側におく
- ② 両ひざをそろえてサイドリフトアップシートの内側に収まるように座る
- ③ フットレストを下げ、両足をフットレストにのせる

フットレストに足をのせることができない場合は、足がサイドリフトアップシートとボデーのあいだで挟まれないように介助の方が支えてください。



TTT21BW012

警告

■ サイドリフトアップシートを使用するときは

- サイドリフトアップシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方は、足や頭がボデーにあたり、座った状態でのサイドリフトアップシートの回転が困難になりますのでご注意ください。
- フットレストの上で立ち上がらないでください。フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。
- サイドリフトアップシートの回転・昇降中、サイドリフトアップシートとリフターは固定されていません。サイドリフトアップシートにもたれかかったり、サイドリフトアップシートを押したりしないでください。サイドリフトアップシートが脱落し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- リフター作動時、頭上や手足に注意してください。頭や手足をドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。（→ P.13）

 **警告****■ サイドリフトアップシートを車いすとして使用するときは**

- 必ずアームレストを使用してください。
アームレストを上げたままだとサイドリフトアップシート乗車の方の体が不安定になったり、転落のおそれがあり危険です。
- 必ずサイドリフトアップシート乗車の方の足がフットレストにのっていることを確認してください。
路面とサイドリフトアップシートとのあいだで足を挟まれるなど、けがをするおそれがあります。
- 不整地や傾斜地および段差の乗りこえなどには十分注意してください。
サイドリフトアップシートが不安定になり、転倒などのおそれがあり危険です。
- サイドリフトアップシートの走行性能（→ P.66）をこえる道を走行しないでください。
 - ・ サイドリフトアップシートには転倒防止装置は装着されていません。無理な走行をすると転倒するおそれがあり危険です。
 - ・ 整備されていない道（じゃり道・雪道など）はサイドリフトアップシートが走行できない、もしくは転倒するおそれがあり危険です。
- サイドリフトアップシートの車輪に強い衝撃や力を与えないでください。
車輪の変形やリンクの曲がりなどにより車輪の格納ができなくなるおそれがあります。

 **注意****■ 故障を防ぐために**

降雨時・降雪時にはできるだけ使用を控えてください。
ブレーキ性能の低下や電装品に悪影響を与えたり、変色やしみの原因になります。

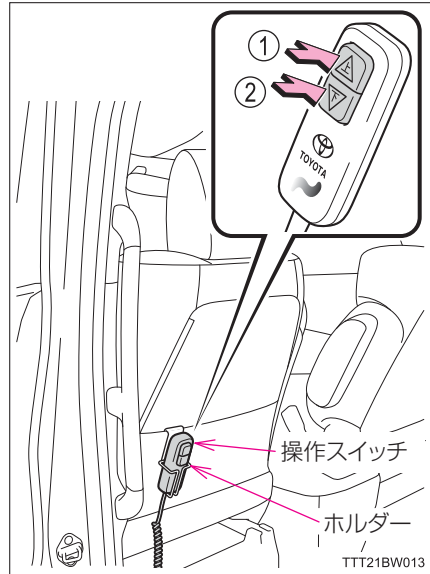
操作スイッチ

操作スイッチでサイドリフトアップシート（脱着タイプ）・リフターの回転、および昇降操作ができます。
すべての操作は必ず介助の方が行ってください。

① 上昇・回転

② 回転・下降

操作しないときは、スイッチ側を車両うしろ側に向けてホルダーにもどします。



知識

■ 作動条件について

- シートベルトを着用していると、操作スイッチを押しても“ピー…”とブザーが鳴り、サイドリフトアップシートは回転および下降しません。(→ P.38)
- 助手席側スライドドアが全開になっていないと、操作スイッチを押しても“ピー…”とブザーが鳴り、サイドリフトアップシート・リフターは回転および昇降しません。(→ P.38)

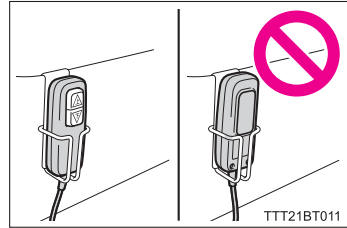
■ 作動について

- サイドリフトアップシート・リフター作動中に、操作スイッチから指を離すと、その位置で停止します。
- サイドリフトアップシート・リフターは、操作スイッチを押し、“ピーツ”とブザーが鳴ってから作動します。(→ P.38)

警告

■ 操作スイッチを収納するときは

操作スイッチを使用しないときは、ホルダーに正しい方向で収納してください。ホルダー以外の場所に収納したり正しい方向で収納しないと、サイドリフトアップシート・リフターが思わぬ動きをして重大な事故につながるおそれがあり危険です。



注意

■ 故障を防ぐために

- 操作スイッチはコードを持って引っ張ったり、からませないでください。コードが断線するおそれがあります。
- サイドリフトアップシート・リフターがいっぱいまで回転・昇降したらスイッチから指を離してください。
- 操作スイッチの切りかえ操作をするときは、1秒以上たってから行ってください。瞬時に「上」「下」の切りかえを行うとサイドリフトアップシート・リフターが故障するおそれがあります。
- 操作スイッチを断続的に押さないでください。故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。
- 操作スイッチは電子部品のため、次のことを必ずお守りください。
 - ・ 分解しない
 - ・ 落としたり、踏むなどの強い衝撃を与えない
 - ・ 飲み物などをこぼしたり、水たまりなど、水中に落下させない（防滴構造ですが、できるだけ水にぬらさないでください）
- 操作スイッチの清掃にシンナー・ガソリン・ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。表面が変形するおそれがあります。清掃するときは、水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってからふいてください。
- 操作スイッチを使用しないときは、ホルダーに正しい方向で収納してください。使用時に引っかかったり、コードがねじれて断線につながるおそれがあります。
- 助手席側スライドドアを閉めるときは、操作スイッチやコードを助手席側スライドドアに挟み込まないように注意してください。操作スイッチが破損したり、コードが断線するおそれがあります。

サイドリフトアップシート・リフターの操作をするときは

サイドリフトアップシート（脱着タイプ）は、助手席側セカンドシートを回転・下降後、リフターから離して車いすとして使用することができます。

- 操作はすべて介助の方が行ってください。
- 格納後はサイドリフトアップシートを前後左右にゆすり、サイドリフトアップシートが確実に格納されたことを確認してください。

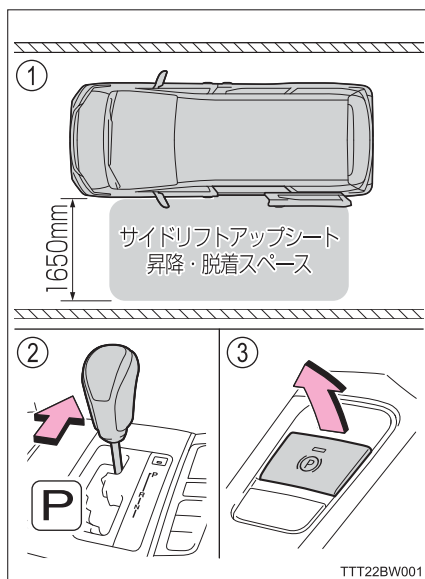
サイドリフトアップシート・リフターを操作する前に

- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま〈ハイブリッドシステムが作動状態のまま〉停車する

- ① 車両左側にサイドリフトアップシートが乗降できるスペース（1650mm以上）を確保する

- ② シフトレバーをPの位置にする

- ③ パーキングブレーキをかける
 パーキングブレーキがオートモードのときは、シフトレバーをPの位置にしたときに、自動でパーキングブレーキがかかります。（→標準車取扱書の「運転のしかた」）

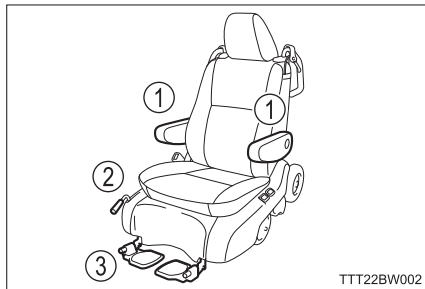


- 2 サイドリフトアップシート・リフターの周囲および作動範囲内に、人や荷物がいないことを確認する

- 3 サイドリフトアップシートのシートベルトをはずす
 はずしたシートベルトがアームレストにかかっていないことを確認してください。

- 4 サイドリフトアップシートを回転・昇降するときには、サイドリフトアップシートを次の状態に調整する

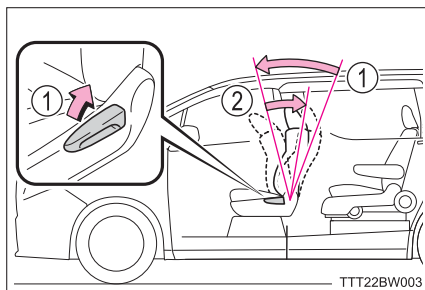
- ① アームレストを下げる
- ② フロントハンドブレーキで後輪のブレーキをかける
- ③ フットレストを下げる



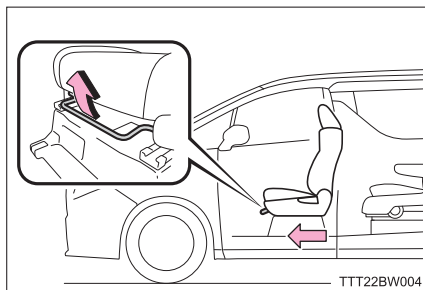
- 5 助手席シートを次のように調整する

▶ マニュアルシート装着車

- ① リクライニングレバーを引きながら背もたれを車両前側にいっぱいまで倒す
- ② リクライニングレバーを引かずにそのまま“カチッ”と音がするまで背もたれを起こす
調整後、背もたれを前後左右にゆすり、確実に固定されていることを確認します。

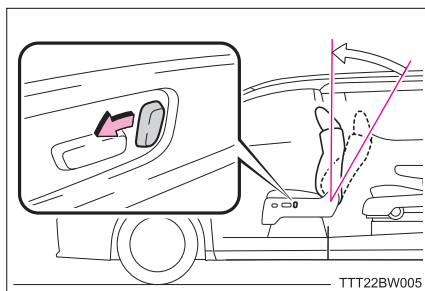


- ③ 助手席シートのスライドレバーを引きながら、いちばんうしろのロック位置から9段以上前方に移動させる
調整後、助手席シートを前後左右にゆすり、確実に固定されていることを確認します。

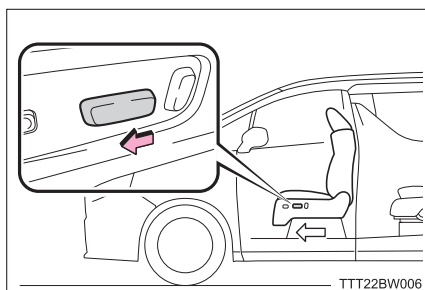


▶ パワーシート装着車

- ① リクライニングスイッチを前方に押し続け、背もたれを車両前側にいっぱいまで倒す

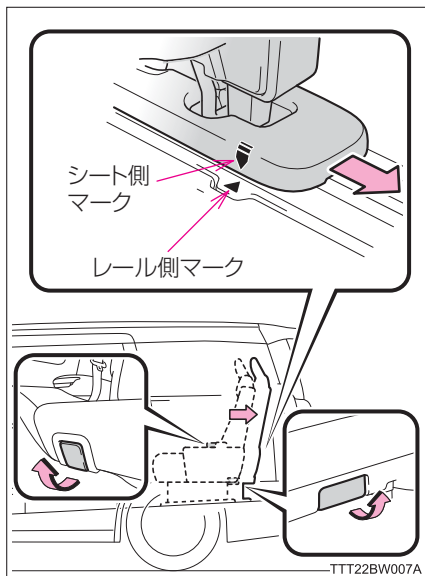


- ② スライドスイッチを前方に押し続け、助手席シートを助手席側スライドドア開口部より前側まで移動させる



- 6 サードシートが格納されているときは、助手席側サードシートを着座状態にし、サードシートの前後いずれかのスライドレバーを引きながら、助手席側サードシートを後方にスライドさせる

シート側のマークがレール側のマークより後方になるように、助手席側サードシートをスライドさせます。



 知識

■ 安全装置について

- サイドリフトアップシートのリクライニング作動時、背もたれに大きな負荷がかかるなどリクライニング作動がさまたげられると、“ピー”とブザーが鳴り、リクライニング作動が停止します。(サイドリフトアップシートの背もたれが回転・昇降に適した位置まで動かないため、サイドリフトアップシートを車外に完全に出すことはできません) (→ P.38)

この場合、サイドリフトアップシート乗車の方の背中を背もたれから少し浮かせるなど、背もたれに負荷がかかっている状態にしたあと、シートリクライニングスイッチまたは操作スイッチを再び押し、正常に作動します。

- サイドリフトアップシート・リフター作動中、障害物にあたるなどサイドリフトアップシート・リフターの作動がさまたげられると、“ピピピッ”とブザーが鳴り、サイドリフトアップシート・リフターは少し反転して停止します。(→ P.38)

この場合、サイドリフトアップシート乗車の方の手足などが車両にあたっていないことを確認し、障害物を取り除くなどしたあと、操作スイッチを再び押し、正常な作動にもどります。

■ Stop & Start システム★について

Stop & Start システムによるエンジン停止中、助手席側スライドドアを全開にするとエンジンが再始動します。

 知識

■ ブザーについて

動作や状況に応じて次のようにブザーが鳴ります。

ブザー		動作・状況
ピーッ		操作スイッチを押してサイドリフトアップシート・リフターが作動するとき
ピピッ		操作スイッチの「上」を押してサイドリフトアップシート・リフターが格納完了したとき
		サイドリフトアップシート・リフター下降時、サイドリフトアップシートが脱着できる位置を検知したとき
警告時	ピー…※1	サイドリフトアップシートでシートベルトを着用したまま操作スイッチを押したとき
		助手席側スライドドアを全開にしないで操作スイッチを押したとき
	ピーー	サイドリフトアップシートの背もたれに大きな負荷がかかり、背もたれが動かないとき
		サイドリフトアップシートとリフターのセットが異常なとき
	ピピッ※2	サイドリフトアップシート・リフターが完全に格納されていない状態で、パワースライドドアスイッチを押して助手席側スライドドアを自動で閉めようとしたとき
ピーピー…	サイドリフトアップシート・リフターが完全に格納されていない状態で、助手席側スライドドアを手動で全開位置から動かしたとき	
ピピピッ	サイドリフトアップシート・リフターが回転中、障害物にあたるなどサイドリフトアップシート・リフターの作動がさまたげられたとき	

※1：操作スイッチを押しているあいだ、鳴り続けます。

※2：ブザーが助手席側スライドドアのスライドドア内から鳴ります。

警告

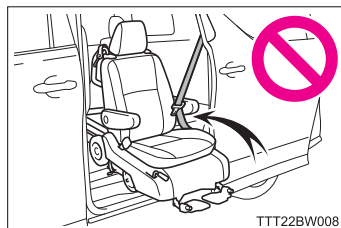
■ 助手席側スライドドアの開閉について

サイドリフトアップシート・リフターの操作をするときは、助手席側スライドドアの開閉はパワースライドドアの自動開閉で行い、手動で開閉しないでください。


サイドリフトアップシート・リフター操作中に手動で助手席側スライドドアを閉めると、サイドリフトアップシート・リフターや助手席側スライドドアを損傷したり、サイドリフトアップシート・リフターと助手席側スライドドアのあいだで手足などを挟まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■ サイドリフトアップシート・リフターを操作する前に

- サイドリフトアップシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方は、足や頭がボデーにあたり、座った状態でのサイドリフトアップシートの回転が困難になりますのでご注意ください。
- 必ず平坦な場所でシフトレバーをPの位置にし、パーキングブレーキを確実にかけてください。(→P.10)
車いすやサイドリフトアップシートから転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車両左側にサイドリフトアップシートを車外に降ろせるスペース(1650mm以上)が確保されていること・下降位置および周辺に障害物がないことを確認してください。(→P.10)
障害物があるとサイドリフトアップシートの脱着ができなくなるだけでなく、サイドリフトアップシートを損傷するおそれがあります。
- 必ず後輪のブレーキがかかっている(フロントハンドブレーキのレバーがロック側になっている)ことを確認してください。
サイドリフトアップシートとリフターが離れたときにサイドリフトアップシートが急に動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 助手席側サードシートに乗員がいないことを確認してください。(→P.12)
助手席側サードシートの乗員がサイドリフトアップシート・リフターに巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- サイドリフトアップシートのシートベルトが確実にはずしてあること、およびシートベルトがアームレストに引っかかかっていないことを確認してください。
シートベルトがアームレストに引っかかったままサイドリフトアップシートを操作すると、シートベルトが体にかかっけがをしたり、サイドリフトアップシートが故障するおそれがあります。



 **警告****■ サイドリフトアップシート・リフターを操作するときは**

- 必ず P.35, 36 の  の状態に助手席シートを調整してください。
助手席シートの背もたれがうしろ側に倒れた状態、または後方にスライドした状態のままサイドリフトアップシートを操作すると、助手席シートがサイドリフトアップシート乗車の方にあたってけがをしたり、助手席シートとサイドリフトアップシートがあたり、シートの破損や故障の原因になります。
- サイドリフトアップシートに乗車の方の頭や手足に注意してください。
頭・腕・ひざ・つま先をドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。(→ P.13)
- サイドリフトアップシート・リフター作動時、サイドリフトアップシート・リフターの下および周辺に手足や荷物を入れないでください。(→ P.13)
手足を挟まれけがをしたり、荷物を損傷するおそれがあります。
- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。
- 必ずアームレストをいちばん下に下げ、使用してください。
アームレストを使用しないと乗車姿勢が不安定になったり、転落のおそれがあります。

■ 助手席シートを操作するときは

助手席シートを後方にスライドおよび背もたれを倒すときは、サイドリフトアップシート乗車の方にあたらないことを確認しながら行ってください。
サイドリフトアップシート乗車の方に助手席シートがあたり、けがをするおそれがあります。(助手席シートの操作→標準車取扱書の「フロントシート」)

 **注意****■故障・破損を防ぐために**

- サイドリフトアップシート・リフターを操作する前に、可動部周辺に障害物がないことを確認してください。
障害物とサイドリフトアップシート・リフターがあたり、破損するおそれがあります。
- サイドリフトアップシートのリフト能力 100kg をこえないようにしてください。
サイドリフトアップシートが故障するおそれがあります。

■車両のバッテリー〈補機バッテリー〉あがりを防ぐために

サイドリフトアップシート・リフターを操作するときは、エンジンをかけて〈ハイブリッドシステムを作動状態にして〉おいてください。
エンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止した状態で操作すると、車両のバッテリー〈補機バッテリー〉あがりの原因になります。また、車両のバッテリー〈補機バッテリー〉の容量が不足しているときにエンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止した状態でサイドリフトアップシート・リフターを操作すると、サイドリフトアップシート・リフターが作動中に停止することがあります。

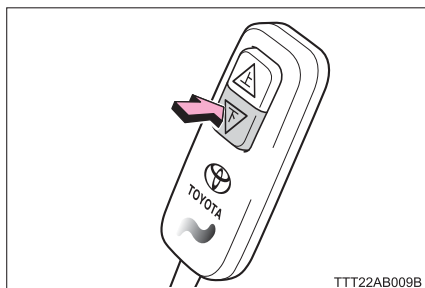
サイドリフトアップシートを車外に出すときは

1 助手席側スライドドアを全開にする

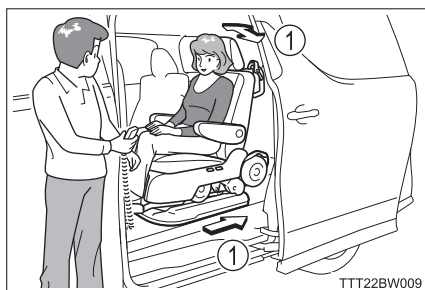
2 操作前に、次の状態を確認する

- ・ サイドリフトアップシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であること (→ P.30)
- ・ サイドリフトアップシートでシートベルトを着用していないこと
- ・ サイドリフトアップシートの状態 (→ P.35)
- ・ フロントハンドブレーキでサイドリフトアップシート後輪のブレーキがかかけられていること (→ P.59)
- ・ 助手席シートの状態 (→ P.35, 36)
- ・ 助手席側サードシートに乗員がいないこと

3 操作スイッチの「下」を押し続け、サイドリフトアップシートを回転・下降させる



① “ピーッ” とブザーが鳴り、回転開始位置までサイドリフトアップシートが動きます。



② サイドリフトアップシートが回転しながら車両前方に移動します。



- ③ サイドリフトアップシートが車外へスライドし、下降します。



- ④ ある程度下降するとサイドリフトアップシートの下降が一時的に停止し、車輪が出てきます。車輪が出おわると再び下降を始めます。

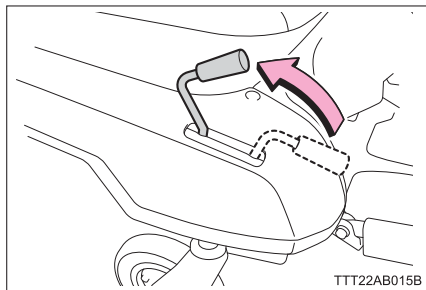


- ⑤ サイドリフトアップシートが脱着できる位置まで下降すると自動的に下降が停止し、“ピピッ”とブザーが鳴ります。

- ・ サイドリフトアップシートの車輪が接地後、フットレストが下降し、リフターの下降が停止し、“ピピッ”とブザーが鳴るまで操作スイッチの「下」を押し続けます。
- ・ リフターが確実に停止したことを確認してから、スイッチから指を離します。



- 4 フロントハンドブレーキを引き、
後輪のブレーキを解除する



- 5 アームレストを持ってサイドリフトアップシートを引き出す



 知識

■ 作動条件について

→ P.32

■ ガソリンスタンドでは

給油時は助手席側スライドドアが全開できないため、サイドリフトアップシートは昇降できません。ガソリンスタンドでサイドリフトアップシートを使用するときは、先にサイドリフトアップシートを操作して助手席側スライドドアを閉めてから、給油口を開けてください。

■ サイドリフトアップシートとリフターのセット位置がずれ、“ピー”とブザーが鳴り、下降途中に停止したときは

サイドリフトアップシートの車輪が出る途中で接地面の障害物などにあたり、サイドリフトアップシートとリフターのセット位置がずれると、“ピー”とブザーが鳴り、下降が停止します(→ P.38)。下降が停止したときは、次の手順で復帰させてください。

- ① 操作スイッチの「上」を押し続け、サイドリフトアップシートを格納する
- ② 障害物を取り除くか、場所をかえてサイドリフトアップシートを下降させる

■ フットレストの黄色マーク(→ P.55)が見えた状態で“ピー”とブザーが鳴り、下降途中に停止したときは

介助の方がサイドリフトアップシート乗車の方の足を支えるなど、フットレストに力をくわえない状態にし、再度操作スイッチの「下」を押し続け、サイドリフトアップシートを下降させてください。

■ サイドリフトアップシートが引き出せないときは

サイドリフトアップシートを下降途中で止めると、サイドリフトアップシートとリフターが離れていないため、サイドリフトアップシートの引き出しができません。サイドリフトアップシートの引き出しができないときは、“ピピッ”とブザーが鳴るまで操作スイッチの「下」を押し続け、完全に下降させてください。(→ P.43)

■ サイドリフトアップシート下降時

車両の状態によっては、左右の車輪が同時に接地しない場合があります。“ピピッ”とブザーが鳴るまで操作スイッチの「下」を押し続け、完全に下降させてください。

 **警告****■ サイドリフトアップシートを引き出すときは**

サイドリフトアップシートを引き出すときは、アームレストをしっかり押さえてください。

後輪のブレーキを解除したとき、サイドリフトアップシートが動き出すおそれがあります。

 **注意****■ 故障・破損を防ぐために**

● サイドリフトアップシート操作中は、フットレストに力をくわえないでください。

電極部などが破損したり、下降途中に停止するおそれがあります。(→P.45)

● サイドリフトアップシートを車外に出したまま放置しないでください。

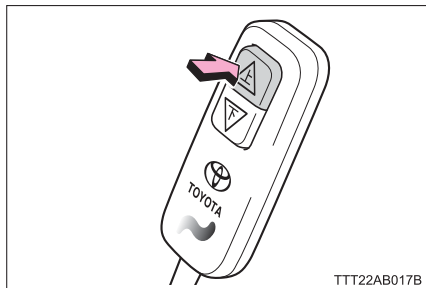
特に炎天下・雨天・寒冷時などにおいて、カバー類の変形やモーターなどの凍結、錆び付きなどのおそれがあります。

リフターを車内にもどすときは

1 操作前に、次の状態を確認する

- ・ 助手席側スライドドアが全開になっていること
- ・ 助手席側サードシートに乗員がいないこと
- ・ リフターから引き出したサイドリフトアップシートがリフターのセンサー光の感知範囲内にないこと (→ P.48)

2 操作スイッチの「上」を押し続け、リフターを上昇・回転させる

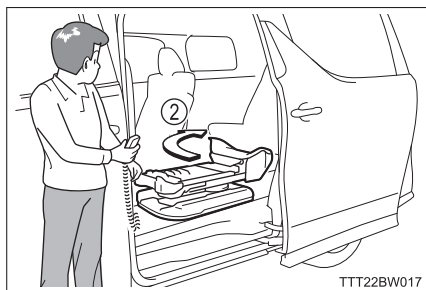


- ① “ピーッ” とブザーが鳴り、リフターが上昇・車内へスライドします。



- ② いっぱいまでスライドすると、リフターが車両後方に移動しながら回転します。

いっぱいまで回転し、自動的に停止 (完全に格納) し、“ピピッ” とブザーが鳴ったらスイッチから指を離します。



3 助手席側スライドドアを閉める

ただちに走行しないときはエンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止してください。

知識

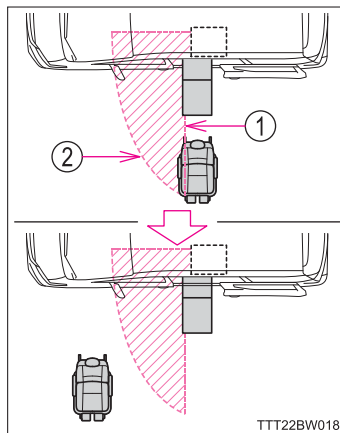
■ 作動について

- リフターから引き出したサイドリフトアップシートがリフターのセンサー光の感知範囲内にあると、リフターから引き出したにもかかわらず、センサーが反応してリフターが上昇しないことがあります。
リフターが動かないときは、次の手順で操作してください。

① サイドリフトアップシートをセンサー光の感知範囲外に移動させる

- ・ 反射板など、センサー光に影響を与えるおそれがあるものがセンサー光の感知範囲内にある場合は、反射板などもセンサー光の感知範囲外に移動させてください。

- ① センサー光
- ② リフター作動時のセンサー光の感知範囲



② 操作スイッチの「下」を押し続け、リフターをいっぱいまで下降させる

③ 操作スイッチの「上」を押し続け、リフターを上昇・回転させる

- リフターが地面に着いた状態から上昇させる場合、地面から離れた直後にブザーが鳴り、停止することがありますが、異常ではありません。再度操作スイッチを押し直してください。

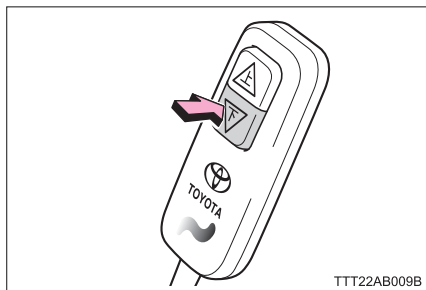
■ 助手席側スライドドアについて

サイドリフトアップシート・リフターの格納が不完全な状態で助手席側スライドドアを全開位置から動かすと、ブザー（“ピーピー”という断続音）が鳴り、サイドリフトアップシート・リフターが正常に格納されていないことをお知らせします。（→ P.38）

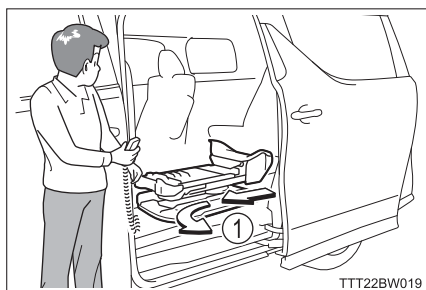
- 自動で助手席側スライドドアを閉めようとしても、助手席側スライドドア内から“ピピッ”とブザーが鳴り、助手席側スライドドアは作動しません。（→ P.38）
- 助手席側スライドドアを全開にし、操作スイッチの「上」を押し続け、サイドリフトアップシート・リフターが自動的に停止し“ピピッ”とブザーが鳴ったことを確認し、助手席側スライドドアを閉めてください。（→ P.38）
格納不良のままだと車両のバッテリー〈補機バッテリー〉あがりの原因にもなります。

リフターを車外に出すときは

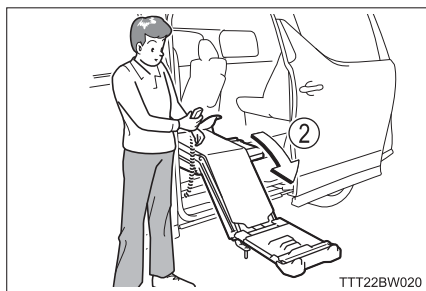
- 1 助手席側スライドドアを全開にする
- 2 操作前に、助手席側サードシートに乗員がないことを確認する
- 3 操作スイッチの「下」を押し続け、リフターを回転・下降させる



- ① “ピーッ” とブザーが鳴り、リフターが回転しながら車両前方に移動し、車外へスライドします。



- ② リフターが下降します。
サイドリフトアップシートが脱着できる位置まで下降し、自動的に停止し、“ピピッ” とブザーが鳴ったらスイッチから指を離します。



 知識

■ 作動条件について

助手席側スライドドアが全開になっていないと、操作スイッチを押しても“ピー”とブザーが鳴り、リフターは回転および昇降しません。(→ P.38)

■ リフターについて

リフターはサイドリフトアップシートを引き出した位置を記憶しています。サイドリフトアップシートを脱着した場所から車両を移動させたりした場合、リフターがサイドリフトアップシートを装着できる位置まで下降しない場合と下降しすぎる場合があります。その場合は、P.53「車両を移動した場合などサイドリフトアップシートがリフターに押し込めないときは」の方法でサイドリフトアップシートをリフターに装着します。

 警告

■ リフターを操作するときは

リフターに手をふれたり、リフター上に足をのせたり、ものを置かないでください。

手足を挟まれけがをしたり、リフターが故障するおそれがあります。

⚠ 注意**■ 故障を防ぐために**

- リフター操作時、接地スイッチにふれないでください。また、接地スイッチ周辺に障害物がないことを確認してください。

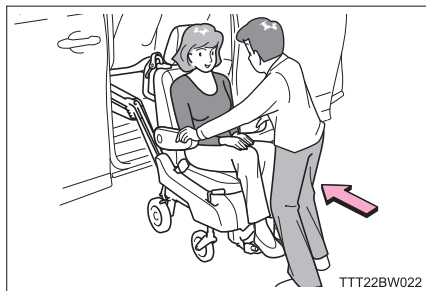


- サイドリフトアップシートをセットする前に、リフターの電極部の水滴・汚れをふき取り、リフター上の雪や異物などを取り除いてください。(→ P.97)
電気が流れず正常作動しない(セット異常時停止しない)ことがあります。
- 必ず自動的に停止し、“ピピッ”とブザーが鳴るまで操作スイッチの「下」を押し続けてください。(→ P.49)
自動的に停止し、“ピピッ”とブザーが鳴るまでリフターを下降させないと、サイドリフトアップシートとリフターのセット不良やユニット破損のおそれがあります。

サイドリフトアップシートのリフターへの装着

- 1 サイドリフトアップシートをリフターに押し込む

アームレストを持ってサイドリフトアップシートをリフターにいっぱいまで押し込みます。



- ▶ サイドリフトアップシートがリフターに押し込めないときは

- ① いったんサイドリフトアップシートをリフターからはずします。
- ② P.53「車両を移動した場合などサイドリフトアップシートがリフターに押し込めないときは」の方法でサイドリフトアップシートをリフターに装着します。

- 2 フロントハンドブレーキを押し、サイドリフトアップシートのブレーキをかける



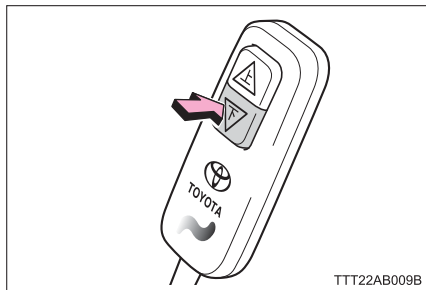
車両を移動した場合などサイドリフトアップシートがリフターに押し込めないときは

サイドリフトアップシートを脱着した場所から車両を移動させたりした場合、リフターがサイドリフトアップシートを装着できる位置まで下降しない場合と下降しすぎる場合があります。

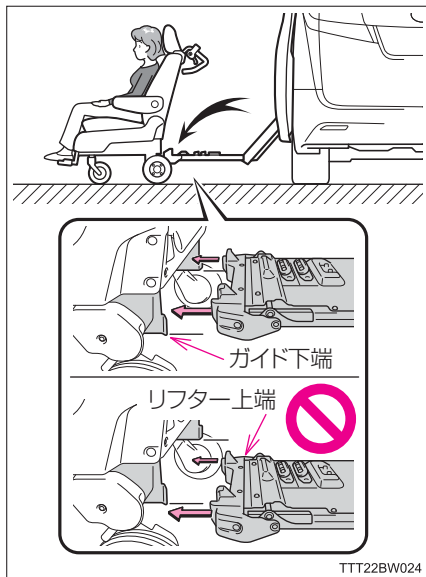
次の方法でサイドリフトアップシートをリフターに装着してください。

- 1** 操作スイッチの「下」を押し続け、リフターを下降させる

- ① “ピピッ” とブザーが鳴る位置までリフターを下降させます。(→ P.49)
- ② 操作スイッチから指を離し、再度操作スイッチの「下」を押し続け、リフターをさらに下降させます。



- 2** 操作スイッチの「上」または「下」を押し、リフター上端がサイドリフトアップシートのガイド下端より上側になるようにリフターの位置を調整する



- 3** P.52 の **1**、**2** の方法でサイドリフトアップシートをリフターに装着する

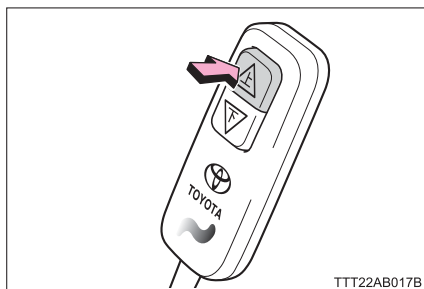
それでもサイドリフトアップシートがリフターに押し込めないときは、P.53 の **1**、**2** をくり返し行います。

サイドリフトアップシートを車内にもどすときは

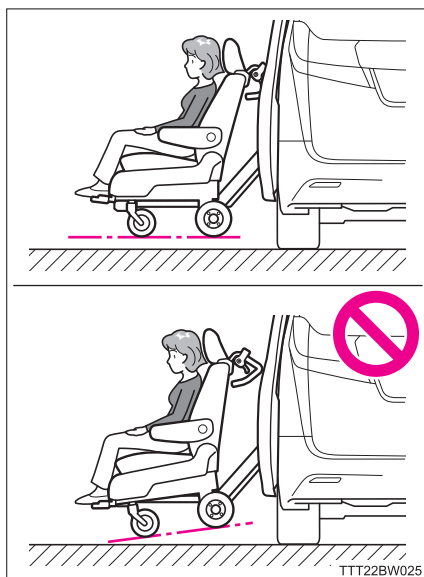
1 操作前に、次の状態を確認する

- ・ 助手席側スライドドアが全開になっていること
- ・ サイドリフトアップシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であること (→ P.30)
- ・ サイドリフトアップシートの状態 (→ P.35)
- ・ フロントハンドブレーキでサイドリフトアップシート後輪のブレーキがかけられていること (→ P.59)
- ・ 助手席シートの状態 (→ P.35, 36)
- ・ 助手席側サードシートに乗員がいないこと
- ・ 助手席側サードシートの状態 (→ P.36)

2 操作スイッチの「上」を押し、フットレストが上昇後、車輪が少し浮くまでサイドリフトアップシート・リフターを上昇させる



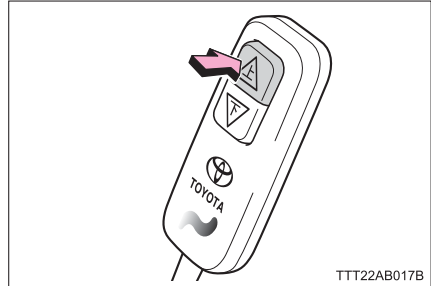
3 サイドリフトアップシートが斜めになっていないことを確認する



▶ サイドリフトアップシートが斜めになっている場合は

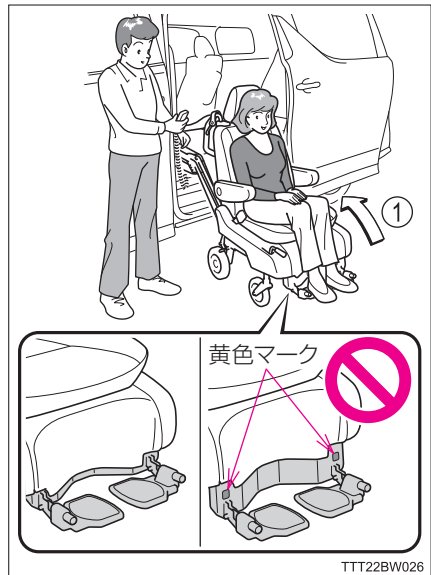
- ① 操作スイッチの「下」を押し続け、サイドリフトアップシート・リフターを下降させます。
- ② サイドリフトアップシートのフロントハンドブレーキを解除し、サイドリフトアップシートをリフターから取りはずします。
- ③ P.52 または P.53 の方法で、サイドリフトアップシートのリフターへの装着をやり直してください。

- 4 操作スイッチの「上」を押し続け、サイドリフトアップシートをリフターにセット・上昇・回転させる



- ① “ピーッ” とブザーが鳴り、リフターが上昇します。

- ・ リフターが上昇するとフットレストも上がります。
- ・ セットが正常（黄色マークが見えなくなった場合）であれば、そのままサイドリフトアップシートが上昇します。
- ・ 黄色マークが見えている場合はセット不良です。操作スイッチの「下」を押し続けてリフターを下降させ、P.52 または P.53 の方法で、サイドリフトアップシートのリフターへの装着をやり直してください。



- ② ある程度上昇するとサイドリフトアップシートの上昇が一時的に停止し、車輪が格納されます。

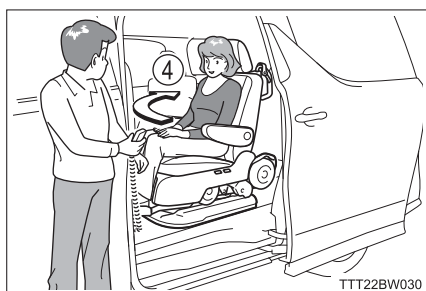


- ③ 車輪が格納し終わると上昇・車内へスライドします。



- ④ サイドリフトアップシートが車両後方に移動しながら回転します。

いっぱいまで回転し、自動的に停止（完全に格納）し、“ピピッ”とブザーが鳴ったらスイッチから指を離します。



- ⑤ サイドリフトアップシートを前後左右にゆすり、サイドリフトアップシートが確実に格納されていることを確認する
- ⑥ 必要に応じてサイドリフトアップシートの調整（→ P.20～27）をし、走行前に必ずシートベルトを着用する（→ P.14, 29）
正しくシートベルトを着用していることを介助の方が確認してください。
- ⑦ 助手席側スライドドアを閉める
- ・ただちに走行しないときはエンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止してください。
 - ・助手席シートを使用するときは、サイドリフトアップシート乗車の方の足などにあたらないことを確認しながら、前後位置・背もたれ角度を調整してください。

 知識

■ 自動メモリー機能について

サイドリフトアップシートを車内にもどすときは、サイドリフトアップシートを車外に出す前の前後位置・背もたれ角度（P.42の③の①の操作前の状態）がメモリー位置として記憶されています。

- メモリー位置までサイドリフトアップシートが回転・停止すると、“ピピッ”とブザーが鳴り、メモリー位置までサイドリフトアップシートがもどった（完全格納した）ことをお知らせします。（→P.38）
- サイドリフトアップシートが車内に格納されたあと、メモリー位置まで完全にもどる途中で操作スイッチの「上」から指を離すと、サイドリフトアップシートの作動が停止し、再度操作スイッチの「上」を押しても作動しなくなります。その場合は、シート前後スライドスイッチ・シートリクライニングスイッチを操作して、サイドリフトアップシートの位置を調整してください。
- サイドリフトアップシート停止後、シート前後スライドスイッチまたはシートリクライニングスイッチを操作し、前後位置・背もたれ角度を調整すると、調整後の位置をメモリー位置として記憶します。

■ サイドリフトアップシートのセットが不完全なままリフターを上昇させ、“ピー”とブザーが鳴り、上昇途中で停止したときは

サイドリフトアップシートのセットが不完全なままリフターを上昇させると、“ピー”とブザーが鳴り、非常停止装置が作動してリフターの上昇が停止、または停止後、少し上昇して停止します（→P.38）。上昇が停止したときは、操作スイッチの「下」を押し続け、リフターが停止してからサイドリフトアップシートとリフターのセットをやり直してください。

■ フットレストの黄色マーク（→P.55）が見えた状態で“ピー”とブザーが鳴り、上昇途中で停止したときは

上昇が停止したときは、次の手順で復帰させてください。

- ① 介助の方がサイドリフトアップシート乗車の方の足を支えるなど、フットレストに力をくわえない状態にする
- ② 操作スイッチの「下」を押し続け、いったんサイドリフトアップシートを下降させる
- ③ 操作スイッチの「上」を押し続け、サイドリフトアップシートを上昇させる

■ 助手席側スライドドアについて

→P.48

 **警告****■ サイドリフトアップシートを車内にもどす前に**

助手席側サードシートに乗員がいないことを確認してください。
サイドリフトアップシートやリフターに巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。(→ P.12)

■ サイドリフトアップシートを車内に格納したときは

- “ピピッ” とブザーが鳴ったことを確認し、さらにサイドリフトアップシートを前後左右にゆすり、確実に格納されていることを確認してください。(→ P.14)
確実に格納されていないと、走行中にサイドリフトアップシートが動き、思わぬ事故の原因になって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 助手席シートを後方にスライドおよび背もたれを後方に倒すときは、サイドリフトアップシート乗車の方にあたらないことを確認しながら行ってください。
サイドリフトアップシート乗車の方に助手席シートがあたり、けがをするおそれがあります。

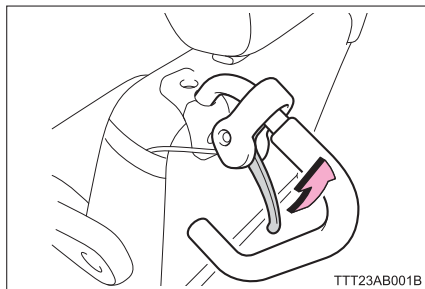
 **注意****■ 故障・破損を防ぐために**

- サイドリフトアップシートを車内にもどす前に、助手席側サードシートが格納・前倒しされていないことを確認してください。
サイドリフトアップシートのハンドルと助手席側サードシートがあたり、シート・ハンドルの破損や故障の原因になります。(P.18)
- サイドリフトアップシートをリフターに装着するときは、サイドリフトアップシートをリフターに強くあてないでください。
サイドリフトアップシートやリフターが破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- サイドリフトアップシート操作中は、フットレストに力をくわえないでください。
電極部などが破損したり、上昇途中に停止するおそれがあります。(→ P.57)

ブレーキ

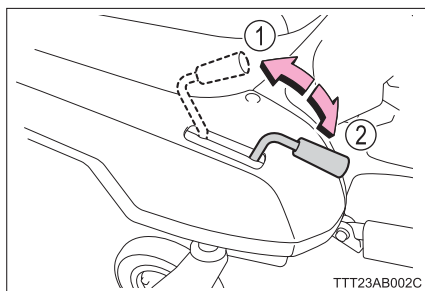
■ 介助ブレーキ（左右のハンドル部）

レバーを握っているあいだ、後輪のブレーキがかかります。



■ フロントハンドブレーキ（サイドリフトアップシート右側）

- ① 後輪のブレーキ解除
- ② 後輪のブレーキがかかる



▲ 警告

■ ブレーキについて

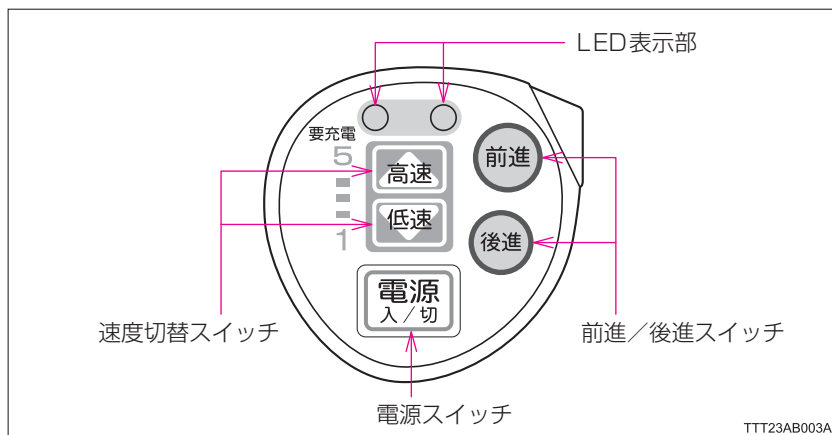
- 介助ブレーキは両側同時に使用してください。
片側のみ使用するとサイドリフトアップシートが思わぬ方向に動いたり、転倒などのおそれがあり危険です。
- サイドリフトアップシートから離れるときは必ずフロントハンドブレーキを使用し、両側後輪をロックしてください。
サイドリフトアップシートが動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- サイドリフトアップシートに乗り降りするとき、フロントハンドブレーキのレバーに衣服などを引っかけて転倒しないよう注意してください。

コントロールパネル／ジョイスティック（電動式）

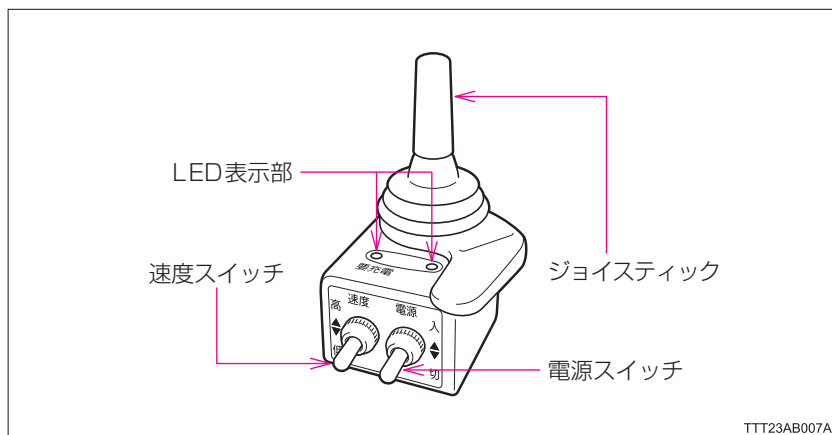
リフターから離れたサイドリフトアップシートを、電動で前進および後退などをさせることができます。

コントロールパネルとジョイスティックは同時に操作できません。使用する側のみ電源を入れてください。（両方の電源を入れた場合、先に電源を入れた側のみ操作できます）

◆ コントロールパネル

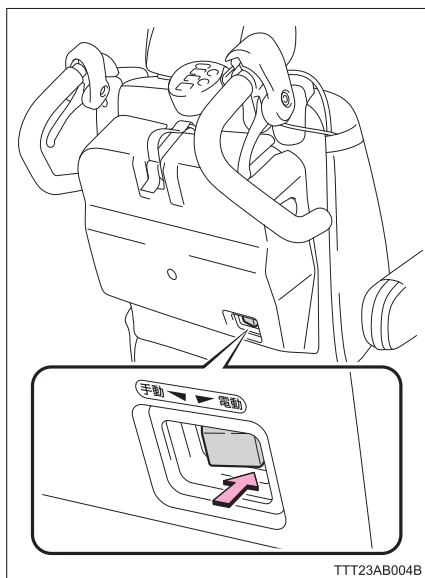


◆ ジョイスティック



コントロールパネル／ジョイスティックを使用してサイドリフトアップシートを操作する前に

- 1 操作前に、次の状態を確認する
- ・ サイドリフトアップシートがリフターから離れていること
(→ P.42～44)
 - ・ サイドリフトアップシートにバッテリーがセットしてあること
(→ P.77)
 - ・ 手動／電動切替スイッチが「電動」になっていること



- 2 フロントハンドブレーキが引かれた状態（ブレーキ解除）になっていることを確認する

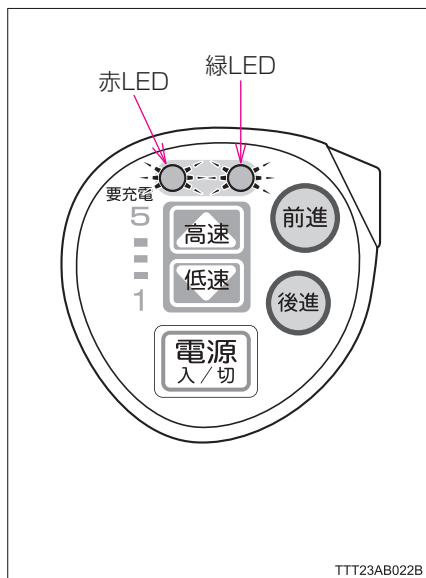


コントロールパネルを使用してサイドリフトアップシートを操作するとき

- 1 **電源入/切** を押し、コントロールパネルの電源を入れる

電源を入れると赤 LED と緑 LED が点滅します。

- ・ 赤 LED は電源 ON 時、通常 1 回点滅 (点滅と同時に“ピー”とブザーが鳴る) します。(正常)
- ・ 緑 LED は点滅回数により速度を表示します。
(例：3 速のときは、3 回点滅 × 2 で表示します)



- 2 **前進** または **後進** を押し、サイドリフトアップシートを動かす

スイッチを押しているあいだ、サイドリフトアップシートが動きます。必要に応じて速度切替スイッチを押して速度を調整してください。

- 3 使用後は **電源入/切** を押し、コントロールパネルの電源を切る

■ コントロールパネルでの速度の切りかえ方

速度は 5 段階調整できます。

速度の切りかえはコントロールパネルの電源を入れた状態で行ってください。

- ① 速度を速くしたいときは **高速** を押す

速度が 1 段階上がり、LED 表示部に変更後の速度を表示します。

- ② 速度を遅くしたいときは **低速** を押す

速度が 1 段階下がり、LED 表示部に変更後の速度を表示します。

ジョイスティックを使用してサイドリフトアップシートを操作するときは

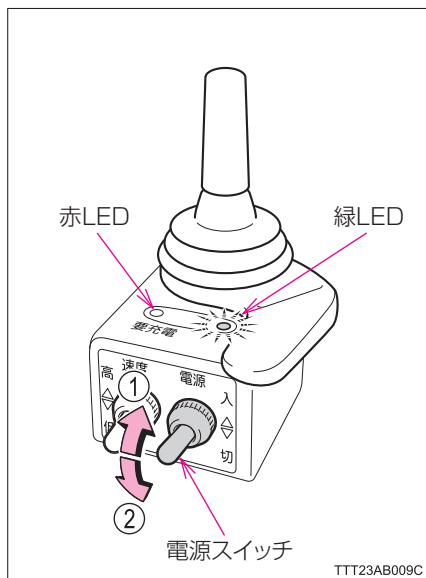
1 ジョイスティックの電源を入れる

① 電源 ON

- ・ 緑 LED が点灯します。
- ・ 赤 LED は電源 ON 時、“ピー”とブザーが鳴り、同時に 1 回点滅後、バッテリーの容量表示ランプの点灯数だけ 2 回点滅します。(1～5 回点滅×2 回)

② 電源 OFF

緑 LED が消灯します。



2 ジョイスティックを操作し、サイドリフトアップシートを動かす

ジョイスティックを操作した方向にサイドリフトアップシートが動きます。必要に応じて速度スイッチで速度を調整してください。

3 使用後は電源 OFF にし、ジョイスティックの電源を切る

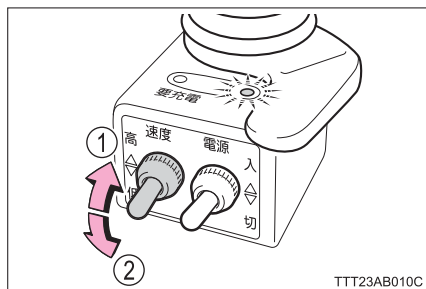
■ ジョイスティックでの速度の切りかえ方

① 高速走行

コントロールパネルで速度調整したときの最高速相当の速度になります。

② 低速走行

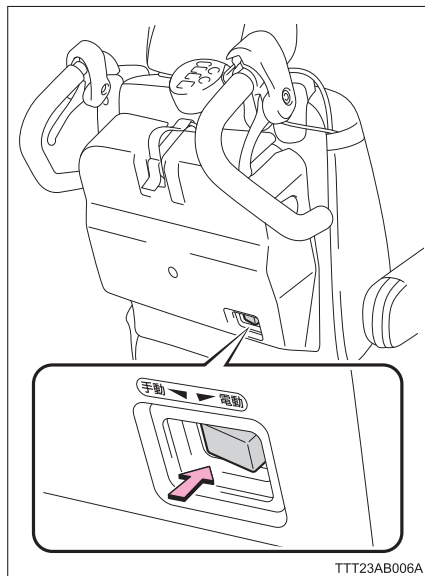
コントロールパネルで速度調整したときの最低速の 1 段階上相当の速度になります。



手動による移動のしかた

サイドリフトアップシートのバッテリーあがりや故障などにより、電動操作できないときは、手動／電動切替スイッチを「手動」にし、移動させます。

手動／電動切替スイッチが「電動」のときに比べて、軽い操作力でサイドリフトアップシートを移動させることができます。



サイドリフトアップシートをリフターにセットするとき

セット操作は介助の方が行ってください。(→ P.52, 53)

 知識

■ 作動条件について

- 手動／電動切替スイッチが「電動」になっていないと、電源を入れた状態でコントロールパネルおよびジョイスティックを操作しても、サイドリフトアップシートは動きません。
- サイドリフトアップシートがリフターから離れていないと、電源を入れた状態でコントロールパネルおよびジョイスティックを操作しても、サイドリフトアップシートは動きません。

■ 電源について

電源を入れると微弱電流が流れますので、使用しないときは電源を切ってください。サイドリフトアップシートのバッテリーあがりの原因になります。

■ LED 表示部について

- 走行中、赤 LED が点滅（点滅と同時に“ピピピピッ”とブザーが4回鳴る）したら「バッテリーあがり」です。早めにバッテリーの充電をしてください。
- バッテリーを充電しても赤 LED が点滅するときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

■ コントロールパネルの設定速度について

電源を入れたときの速度は、前回使用したときの速度になります。

 知識

■ 走行性能について

- 最高速度は約 3.5km/h です。
- 8° 以上の坂は上ることができません。
- じゃり道での走行はできません。
- 25mm 以上の段差は乗りこえができません。

 警告

■ サイドリフトアップシートを電動車いすとして使用するとき

必ずアームレストを使用してください。

サイドリフトアップシートの車外での移動時、アームレストを上げたままだと体が不安定になったり、転落のおそれがあり危険です。

 注意

■ 故障を防ぐために

ブレーキがかかったままコントロールパネルおよびジョイスティックを使用して、サイドリフトアップシートを動かさないでください。
モーターの焼き付きなど故障の原因になります。

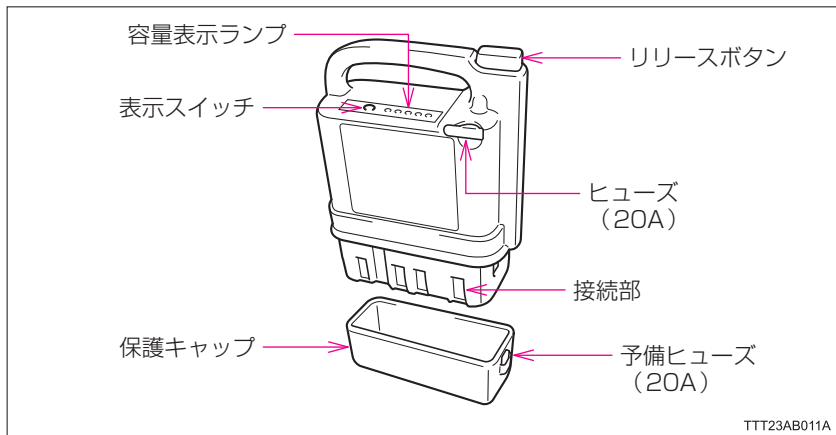
■ 誤動作およびサイドリフトアップシートのバッテリーあがりを防ぐために

長時間サイドリフトアップシートを使用しないとき、および車内にもどしたときは、次のことを行ってください。

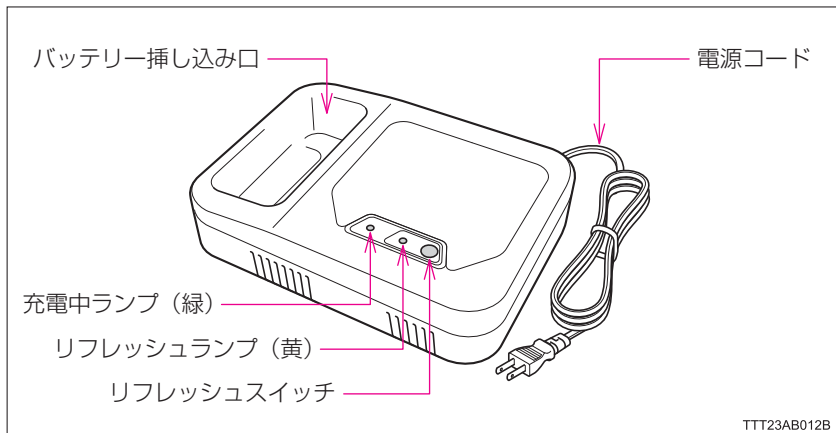
- フロントハンドブレーキで後輪のブレーキをかける
- コントロールパネルおよびジョイスティックの電源を切る
- 手動／電動切替スイッチを「手動」にする
- 必要に応じてサイドリフトアップシートのバッテリーを取りはずす
(→ P.78)

バッテリーの充電（電動式）

◆ バッテリー



◆ 充電器



バッテリーの充電のしかた

お買い上げ時、バッテリーは充電されておりません。充電してからお使いください。なお、充電は次のような場所で行ってください。

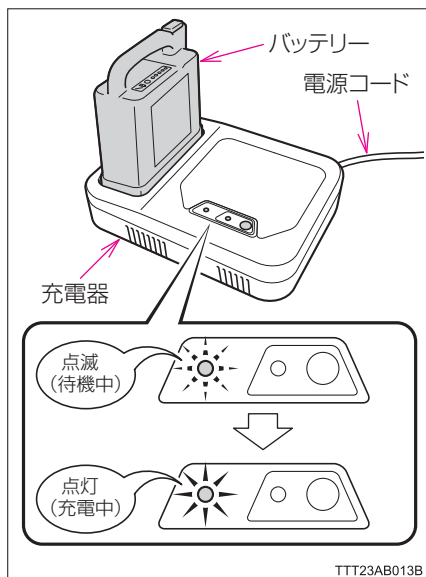
- 屋内の涼しく風通しのよいところ
- 充電中の温度が 10 ～ 30℃に保たれるところ
- 平坦で安定のよいところ
- 屋外で雨にぬれたり、洗面所など水がかかるところは避けてください。ショートしたり、感電するおそれがあり危険です
- 幼児やペットがいたずらしそうなところは避けてください。けがをしたり、機器を破損するおそれがあります

- 1 電源コードを充電器側とコンセント側に、プラグ部分を持って挿し込む

AC100 ～ 240V、50 / 60Hz の入力電源に対応しています。

- 2 バッテリーを充電器の挿し込み口に突きあたるまでしっかりと挿し込む

- ・ バッテリーが適温であれば、充電中ランプ（緑）が点灯して充電が始まります。
- ・ バッテリーの温度が 0℃以下もしくは 40℃以上の範囲にあると、適温になるまで充電中ランプ（緑）が点滅します。バッテリーが適温になると、ランプが点灯して自動的に充電が始まります。

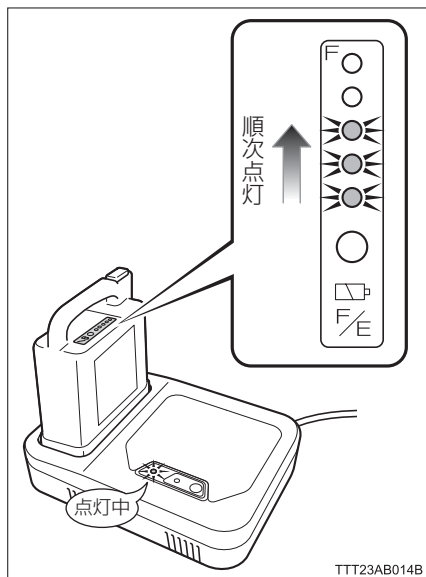


TTT23AB013B

- ① 充電中は、バッテリーの容量表示ランプが順次点灯し、充電のすすみ具合を表示します。

充電は約2～3時間で完了します。

- ② 充電が完了すると、自動的に充電器の充電中ランプ（緑）とバッテリーの容量表示ランプが消灯します。



充電が終了したら

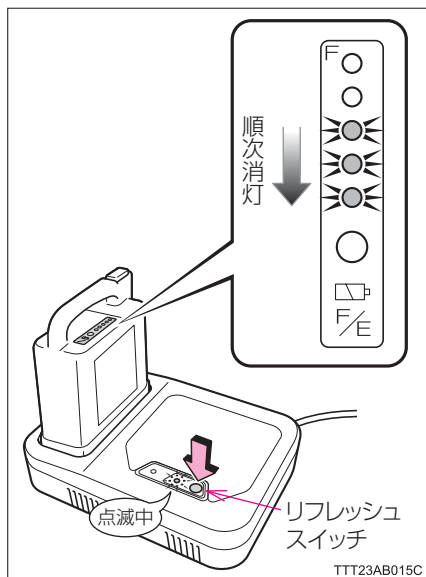
- 1 バッテリーを充電器から取りはずす
- 2 電源コードのプラグ部分を持って、コンセントから引き抜く

リフレッシュ充電のしかた

リフレッシュ充電が必要になると、バッテリーを充電器の挿し込み口に挿し込んだとき、リフレッシュランプ（黄）が点滅します。バッテリーを長持ちさせ、走行距離の低下を防ぐため、リフレッシュランプ（黄）が点滅したら、必ずリフレッシュ充電を行ってください。

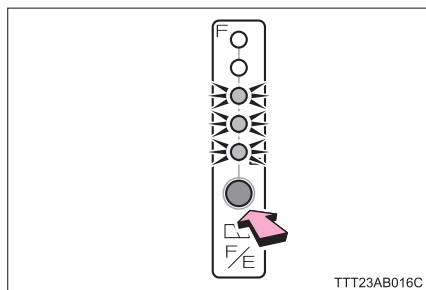
リフレッシュランプ（黄）が点滅しているあいだ（約 10 秒）に、リフレッシュスイッチを押す

- ① リフレッシュランプ（黄）が点灯して、残ったバッテリーの放電を開始します。
- ② 放電中は、バッテリーの容量表示ランプが順次消灯し、放電のすすみ具合をお知らせします。
- ③ 放電が完了すると、自動的に充電が始まります。（→ P.68）



バッテリーの残量チェックのしかた

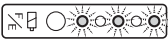

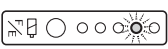
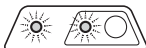
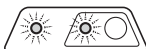
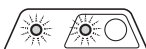
バッテリーの表示スイッチを押す
容量表示ランプが点灯し、バッテリーの残量を知らせます。



充電中に異常が生じたときは

充電中にバッテリーか充電器に異常が発生すると、充電器の充電中ランプ（緑）、リフレッシュランプ（黄）およびバッテリーの容量表示ランプが点滅して異常をお知らせします。

充電器は非分解構造です。充電器の異常が発生した場合は、トヨタ販売店にご連絡ください。

バッテリー	充電器	原因・処置
 1・3・5 番目 点滅	 緑・黄の 同時点滅	バッテリーの温度が充電に適していません。 バッテリーの温度が適温になるまで待つてから充電を始めてください。
 4 番目点滅		バッテリー内部の異常です。新しいバッテリーに交換してください。 交換する際は、トヨタ販売店にご連絡いただき、リサイクルをお願いします。
 緑・黄の 早い交互点滅	 緑・緑・緑・黄 の順次周期点滅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接点不良のおそれがあります。バッテリー側、充電器側の接点部を点検して、ゴミつまりなどがあつたら取り除いてください。 また、接点部に汚れがある場合は、接点を変形させたり、傷付けないように注意して乾いた布でふき取ってください。 ・ バッテリーのヒューズが切れているおそれがあります。バッテリーの側面にあるヒューズのフタを開けてヒューズを点検し、切れていれば保護キャップ上の予備ヒューズに交換してください。（20A ブレードヒューズ）
		充電器に異常があります。新しい充電器に交換してください。
		 緑・緑・黄 の順次周期点滅

バッテリーの長期保管

バッテリーは自己放電によりバッテリーの残量が減ります。長期間使用しないで保管する場合は、バッテリーを充電して高温になる場所を避けて保管してください。(0～30℃が推奨保管温度です)

バッテリーのリサイクル

劣化して交換したバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源のため、リサイクルの際は、トヨタ販売店にご連絡ください。

知識

■ 充電について

- バッテリーの充電中、充電器の状態により冷却ファンがまわったり停止する作動音が聞こえることがあります。
- バッテリー保護のため、バッテリー温度が0～40℃の範囲外の場合は、充電を開始しません。適温になってから充電してください。待機時間は条件により異なりますが、1～2時間かかります。
- 夏の暑い日中に走行した直後のバッテリーは高温になりますので、充電の前に自然に冷ましてください。

■ 走行距離について

バッテリーフル充電、常温25℃の直線平坦路連続走行時の最高速度・電動走行距離は次のとおりです。

最高速度	電動走行距離	充電時間（家庭用電源）
約 3.5km/h	約 8km / 1 充電 (バッテリー 2 個分)	約 3 時間 / 個 (常温時)

地形や温度、充電方法によっては、走行距離が短くなる場合があります。

- 登坂走行や段差乗り越えなどの多いところでの走行は、平地にくらべてバッテリーの消費電力が増えるため、走行距離は短くなります。
- 気温が高すぎたり低すぎるとバッテリーの働きが弱まり、走行距離が短くなります。(10℃～30℃が推奨環境温度です)

 知識**■ 充電中ランプについて**

- 充電時のバッテリー温度は、バッテリーの寿命に大きく影響します。充電器はバッテリーから温度情報を読み込み、充電を管理します。
- 充電中にバッテリーか充電器に異常が発生すると、表示ランプを点滅させて異常箇所をお知らせします。

■ リフレッシュランプについて

ニッケル水素バッテリーは、完全に放電させてから充電すると、バッテリー機能を回復させて走行距離の低下を防ぐことができます。充電器はバッテリーのリフレッシュ充電が必要なとき、リフレッシュランプを点滅させ、お知らせします。

■ リフレッシュ充電について

- リフレッシュ充電は通常、3～13時間かかります。高い温度の場所では、さらに時間がかかる場合があります。
就寝前にリフレッシュ充電を開始し、翌朝まで放置すると、効率的に充電できます。
- リフレッシュのお知らせがあった場合でも、短時間に充電を完了したいときは、そのまま放置すれば約10秒後に充電が始まります。

■ 自己放電について

バッテリーは使用しなくても自然に残量が減っていきます。

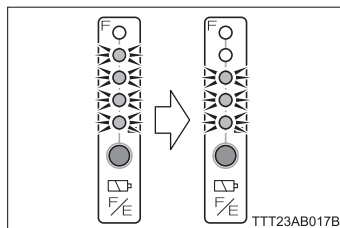
- 長期間使用しない場合でも、定期的に容量表示で残量を確認して適宜、再充電してください。長期保存時に充電できない場合は、自己放電を抑えるために、バッテリーのヒューズをはずしてください。（ヒューズをはずすと容量表示ランプが正しく表示しなくなりますが、再充電することで正常にもどります）
- 自己放電は保管温度に影響を受け、特に高温で加速します。（0℃～30℃が推奨保管温度です）
- サイドリフトアップシートに装着したまま保管すると、わずかですがバッテリーを消費します。長期間使わない場合はサイドリフトアップシートから取りはずし、高温になる場所を避けて保管してください。

 知識

■ バッテリーの劣化について

バッテリーは正しく使っていても月日がたつと徐々に性能がおとろえていきます。

- ニッケル水素バッテリーの寿命は使い方や使用環境により異なりますが、約1年間もしくは約300サイクルが目安です。(充電完了後の容量表示でも判断できます)
- 劣化が進むと容量表示が不安定になります。トヨタ販売店にご相談いただき、早めに新品バッテリーに交換されることをおすすめします。
- バッテリーの劣化がすすむにつれて、充電が完了したときでも、5番目、4番目…と順次容量表示ランプが消灯してきます。充電完了状態で5番目と4番目の2つのランプが点灯しなくなったときがバッテリー交換の目安としてください。



■ ヒューズを交換したあとは

次の場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換してもコントロールパネルおよびジョイスティックの電源が入らないとき

 **警告****■ バッテリーの取り扱いについて**

- バッテリーは小型ですが、大きなエネルギーを蓄えています。使い方を誤ると機器の損傷につながったり、場合によってはやけどや火災を引き起こすおそれがあり危険です。
- バッテリーの充電をするときは、必ず P.67 の充電器を使用し、家庭用電源から充電してください。
火災やバッテリー破損のおそれがあり危険です。
 - ・ 車内のアクセサリコンセント（AC100V）では絶対に充電しないでください。

■ バッテリーのヒューズについて

次のことをお守りください。

お守りいただかないとサイドリフトアップシート・バッテリーの故障や火災、けがをするおそれがあります。

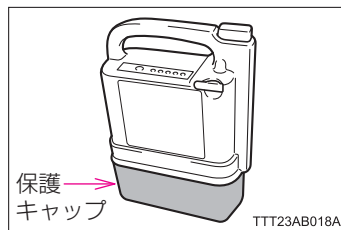
- 規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しない
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用する
- ヒューズやバッテリーを改造しない

⚠ 注意**■ リフレッシュ充電について**

リフレッシュ充電のお知らせを無視して充電を続けると、バッテリーの容量表示が不正確になってきます。リフレッシュ充電のお知らせが始まったら、3回目までの充電のあいだに必ずリフレッシュ充電を実施してください。

■ 故障を防ぐために

- バッテリーおよび充電器に強い衝撃を与えたり、落とさないでください。故障の原因になります。
- バッテリー挿し込み口には、手やものを入れないでください。バッテリー挿し込み口に異物がないか確認してください。もしあれば取り除いてからバッテリーを挿し込んでください。
- 取りはずしたバッテリーには必ず保護キャップを装着して保管してください。接点部が露出していると、ショートするおそれがあります。

**■ 損傷を防ぐために**

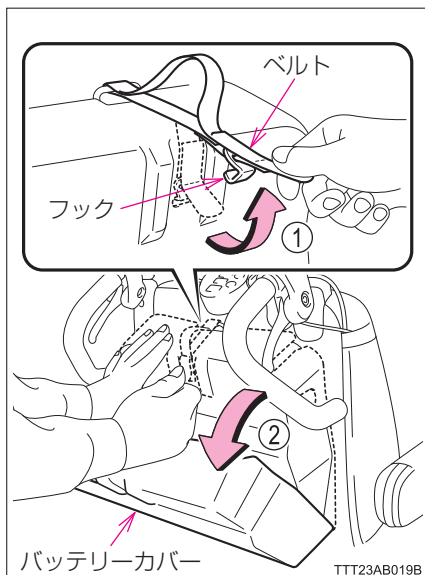
- 充電器の接点を変形させたり、傷付けたりしないでください。
- 充電済みのバッテリーをさらに充電しないでください。温度が上昇してバッテリーの寿命を短くします。
- 次のようなところで充電しないでください。バッテリーの破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・ 直射日光が当たる場所やストーブのそばなど高温になるところ、また寒冷地などでは、冬期に氷点下に気温が下がるところは避けてください。バッテリー温度が熱すぎたり冷たすぎたりすると、充電が始まりません。
 - ・ 充電器の上やまわりにもものを置かないでください。充電中に充電器が発熱し、機能が低下するおそれがあります。
- 電源コードを引っばって抜かないでください。断線の原因になります。

バッテリーのサイドリフトアップシートへの装着（電動式）

バッテリーをサイドリフトアップシートに取り付けるときは

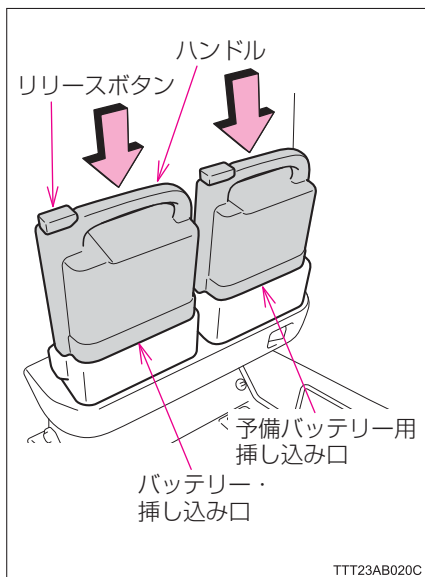
1 バッテリーカバーを開ける

- ① 片方の手でバッテリーカバーを押さえ、もう片方の手でベルトを持ち、フックをバッテリーカバーから取りはずします。
- ② バッテリーカバーに手を添えたまま、静かに開けます。



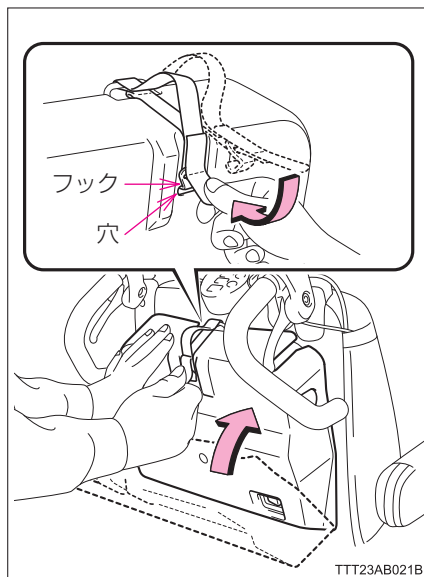
2 バッテリーのハンドルを持ち、挿し込み口にバッテリーを挿し込む

- ・ サイドリフトアップシート側とバッテリー側の接続部に異物・水分および汚れなどが無いことを確認します。
- ・ 左側のみ接続されています。（右側は予備バッテリーの挿し込み口です）



3 バッテリーカバーを閉める

- ① 片方の手でバッテリーカバーを押さえ、もう片方の手でベルトを持ち、フックをバッテリーカバーの穴に挿し込みます。
- ② バッテリーカバーを前後左右にゆすり、確実に固定されたことを確認します。

**バッテリーをサイドリフトアップシートから取りはずすときは**

- 1 バッテリーカバーを開ける
- 2 バッテリーを挿し込み口から取りはずす
リリースボタンを押しながらハンドルを持ち、バッテリーを持ち上げます。
- 3 バッテリーカバーを閉める

警告**■ バッテリーカバーを開閉するときは**

- 車両の走行中はバッテリーカバーを開閉しないでください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに助手席側サードシート乗車の方が重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- バッテリーカバーを開閉するときは、手を挟まないよう注意してください。
- バッテリーカバーを開けるときは、バッテリーカバーから急に手を離さないでください。
バッテリーカバーが足などにあってけがをしたり、バッテリーカバーを破損するおそれがあります。
- バッテリーを脱着しないときは、バッテリーカバーを閉めてください。
バッテリーカバーを開けたままだと、助手席側サードシート乗車の方にあってけがをしたり、バッテリーカバーを破損するおそれがあります。

運転席側セカンドシートについて

運転席側セカンドシートについて、標準車との相違点を記載しています。

装備	標準車との相違点	
	標準車	ウェルキャブ（サイドリフトアップシート車 - 脱着タイプ）
折りたたみ式 サイドテーブル	有	無
横スライド	有	無

助手席側サードシートについて

助手席側サードシートを格納および着座状態にもどすときは、次のこと
をお守りください。

助手席側サードシートを格納および着座状態にもどすときは

サイドリフトアップシートの背もたれをいちばん前まで倒した状態で行
います。

以降の操作および運転席側サードシートは標準車取扱書に記載の操作方法で格納お
よび着座状態にもどします。(→標準車取扱書の「シートアレンジ」)

注意

■ 破損・故障を防ぐために

サイドリフトアップシートの背もたれが後方に倒れた状態で、助手席側サード
シートの操作をしないでください。

サイドリフトアップシートと助手席側サードシートがあたり、破損するおそれ
があります。

チャイルドシート

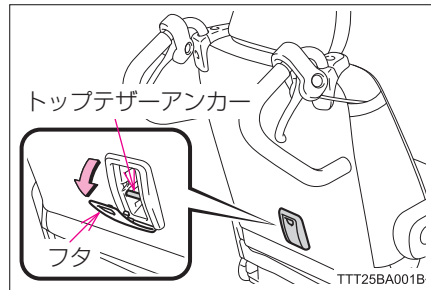
サイドリフトアップシート(脱着タイプ)で ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー&トップテザーアンカーを使用してチャイルドシートをサイドリフトアップシートに固定するときは、次のことを行ってください。

トップテザーアンカーの取り扱い以外は標準車と同様です。(→標準車取扱書の「チャイルドシート」)

トップテザーアンカーを使用するときは

▶ 手動式

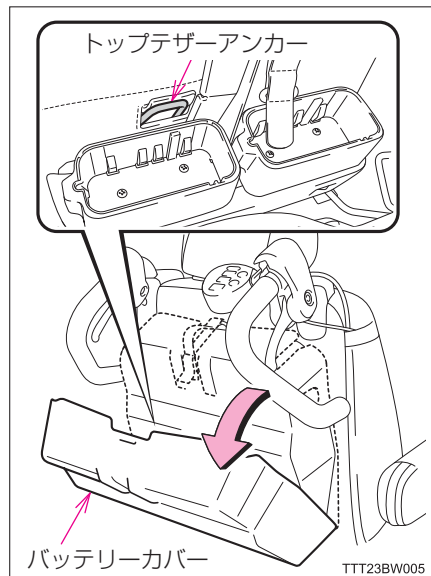
使用するときにはフタを開ける



▶ 電動式

バッテリーカバーを開け、バッテリーを挿し込み口から取りはずす (→ P.77, 78)

トップテザーアンカーにフックを取り付け後、バッテリーカバーを閉めます。(→ P.78)

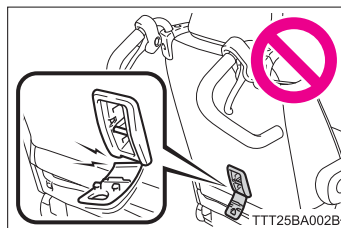


警告**■ トップテザーアンカーにフックを取り付けたときは（電動式）**

必ずバッテリーカバーを閉めてください。
バッテリーカバーを開けたままだと、助手席側サードシート乗車の方にあたってけがをしたり、バッテリーカバーを破損するおそれがあります。

注意**■ 故障を防ぐために（手動式）**

トップテザーアンカーを使用しないときは、必ずフタを確実に閉めてください。
開けたままにしておくとフタが破損するおそれがあります。



手動車いす用固定装置

3

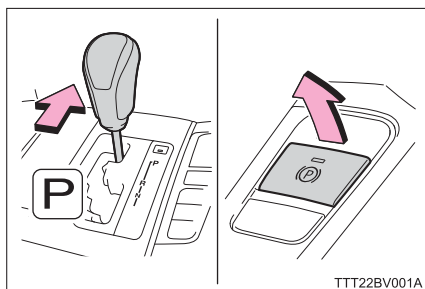
- 3-1. 手動車いす用固定装置
 - 車いすの収納・固定前の準備.. 84
 - 車いす固定ベルト 87
- 3-2. 車いすの収納・固定
 - 固定・解除のしかた 91

車いすの収納・固定前の準備

車いすを出し入れする前に

- 1 安全で平坦な場所に停車し、シフトレバーをPの位置にし、パーキングブレーキをかける

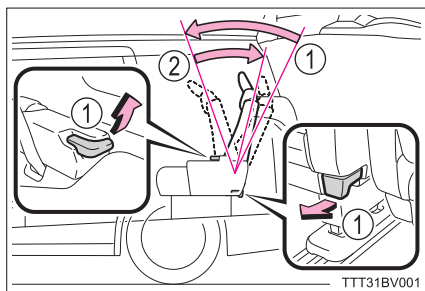
パーキングブレーキがオートモードのときは、シフトレバーをPの位置にしたときに、自動でパーキングブレーキがかかります。(→標準車取扱書の「運転のしかた」)



- 2 バックドアを全開にする

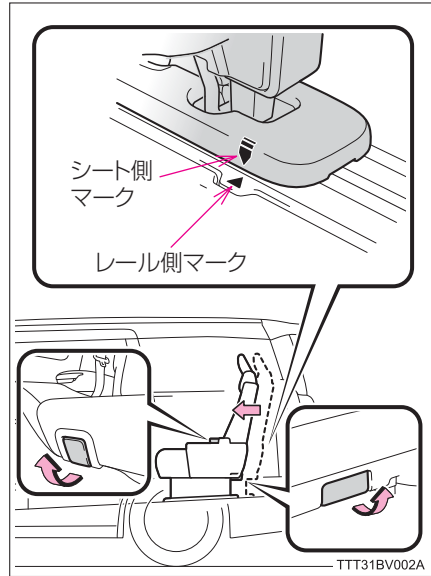
- 3 サードシートの背もたれを次のように調整する (左右とも)

- ① リクライニングレバーまたはスペースアップレバーを引きながら、背もたれを車両前側に少し倒す
- ② リクライニングレバーまたはスペースアップレバーを引かずに背もたれを起こし、ロックさせる



- 4 サードシートの前後いずれかのスライドレバーを引きながら、サードシートの前後位置を調整する（左右とも）

シート側のマークがレール側のマークより前方になるように、サードシートをスライドさせます。



知識

■ 収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすは下表のサイズのものになります。

全高	全長	折りたたみ幅
960mm 以下	1150mm 以下	330mm 以下

■ バックドアについて

全開にしないと、車いす収納時、バックドアと車いすがあたり、車いすの収納が困難になります。

■ サードシートについて

サードシート格納時、車いすを固定することはできません。車いすを収納・固定するときは、必ずサードシートを着座状態にし、背もたれをいちばん起こした位置にしてください。（→ P.84）

 **警告****■ 車いすを収納・固定するときは**

必ず平坦な場所でシフトレバーを P の位置にし、パーキングブレーキを確実にかけてください。(→ P.10)

車いすが傾いて体や車両にあたるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ サードシートを調整するとき

● 背もたれを調整するときは、背もたれを押さえながらリクライニングレバーまたはスペースアップレバーを操作してください。

背もたれを押さえずにリクライニングレバーまたはスペースアップレバーを操作すると背もたれが急に動き、けがをするおそれがあります。

● 前後位置を調整するときは、シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。

指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

● 左右のシートを同時に操作しないでください。

指や手を挟み、けがをするおそれがあります。シートは片側ずつ操作してください。

 **注意****■ 荷物や車いすの損傷を防ぐために**

車いすを収納する前にラゲージルーム内に荷物がないことを確認してください。

車いすの収納が困難になるばかりでなく、荷物や車いすを損傷するおそれがあります。

車いす固定ベルト

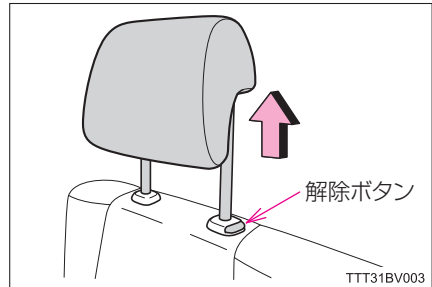
車いすを固定するための車いす固定ベルトは次のように使用してください。

車いす固定ベルトを車両へ取り付けるときは

1 車いす固定ベルトをラゲージルームから取り出す

2 サードシート左右席のヘッドレストを取りはずす

解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。



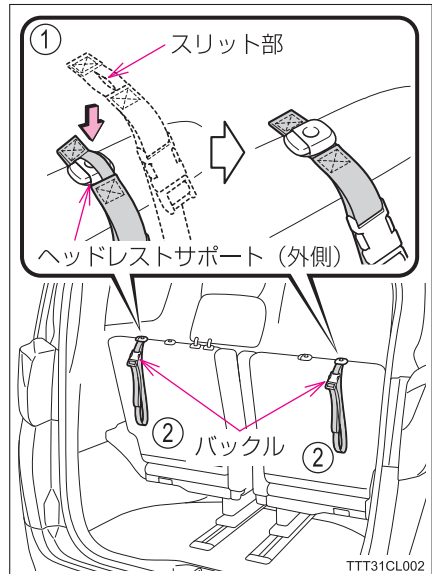
3 車いす固定ベルト A をサードシート左右席のヘッドレスト部に取り付ける

① 車いす固定ベルト A のスリット部をシート外側のヘッドレストサポートに通し、ヘッドレストサポートとシートのあいだに挟むように取り付ける

左側席は先に解除ボタンのある側から通すと、容易に取り付けられます。

② バックルが手前（車両後方）側を向いていることを確認する

バックルが奥（車両前方）側を向いている場合は、車いす固定ベルトの取り付けをやり直してください。



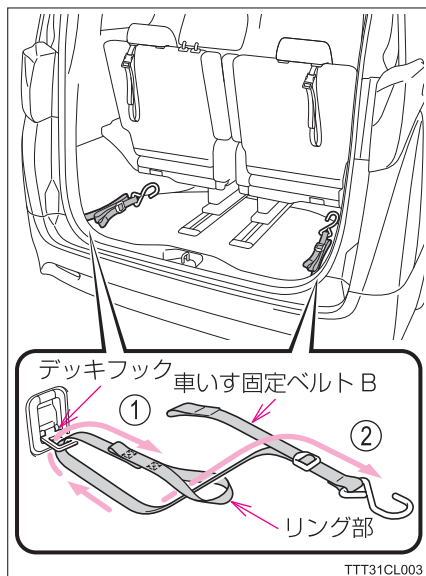
4 サードシート左右席にヘッドレストを取り付け、乗員がいないときはヘッドレストを下げる

解除ボタンを押しながら操作します。

5 車いす固定ベルト B を取り付ける

- ① 車いす固定ベルト B のリング部をデッキフックに通す
- ② 車いす固定ベルト B をリング部に通して引っ張り、確実に取り付ける

バックルが上側を向いていることを確認します。(バックルが下側を向いている場合は、車いす固定ベルトの取り付けをやり直してください)

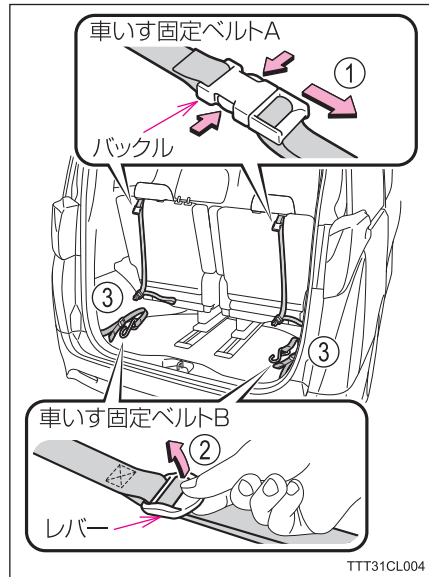


TTT31CL003

車いすをラゲージルーム内に収納・固定するときは

ラゲージルーム内に何も置かれていない状態にします。

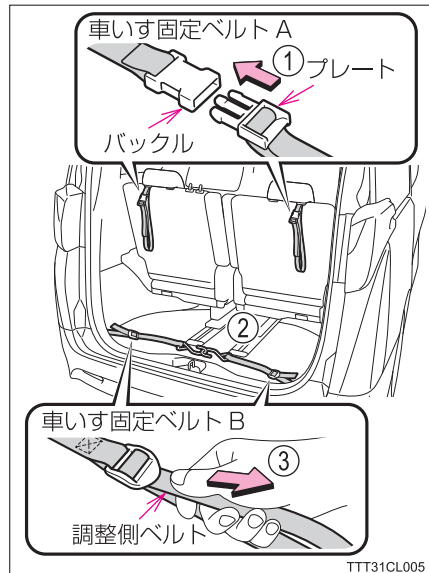
- ① 車いす固定ベルト A のバックルのロックを解除する
- ② 車いす固定ベルト B のバックルのレバーを引き上げて車いす固定ベルト B をゆるめ、十分にのばす
- ③ 車いす固定ベルト B のフックをはずし、ラゲージルームのすみによけておく（2 本とも）



車いすをラゲージルーム内に収納・固定しないときは

車いす固定ベルトがラゲージルーム外に出ないようにします。

- ① 車いす固定ベルト A のバックルをロックする
プレート
バックル
- ② 車いす固定ベルト B のそれぞれのフックを引っかける
- ③ 車いす固定ベルト B の調整側ベルトを引っ張り、フックが走行中にはずれないようにする



 知識

■ 車いす固定ベルトについて

- 車いすを収納するときは、車いす固定ベルト B をラゲージルーム内中央に放置しないでください。車いす収納時、車いすの下敷きになり、車いす固定ベルト B の操作が困難になります。
- 車いすを収納・固定しないときは、車いす固定ベルト B をバックドアに挟んだりしないようにするため、それぞれのフックを引っかけてください。
(→ P.89)

 注意

■ 損傷を防ぐために

サードシートの格納およびもどす操作をするときは、必ず車いす固定ベルト B を P.89 の状態にしてください。

車いす固定ベルト B を放置した状態でサードシートの格納およびもどす操作を行うと、車いす固定ベルト B を挟み込み、車いす固定ベルト B の損傷やロック機構が破損するおそれがあります。

固定・解除のしかた

車いすの固定・解除については次のように行ってください。

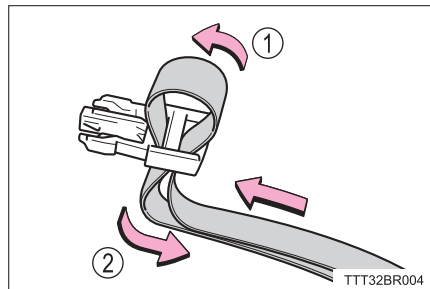
収納・固定のしかた

- 1 車いすを折りたたみ、後輪のブレーキを両輪ともかける
 - ・ 車いすの折りたたみ方、ブレーキのかけ方については、お使いの車いすの取扱説明書を参照してください。
 - ・ P.85 の「収納可能な車いすのサイズ」を確認してください。

- 2 車いすを立てたままラゲージルーム内に収納する

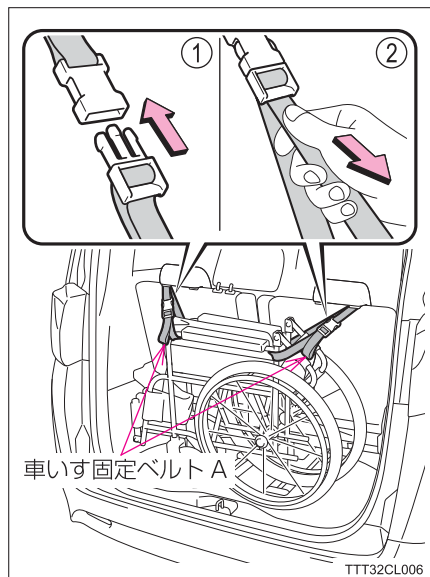
- 3 車いす固定ベルト A を十分にのばす

- ① 調整側ベルトをプレート側に押し込む
- ② 下側のベルトを引く

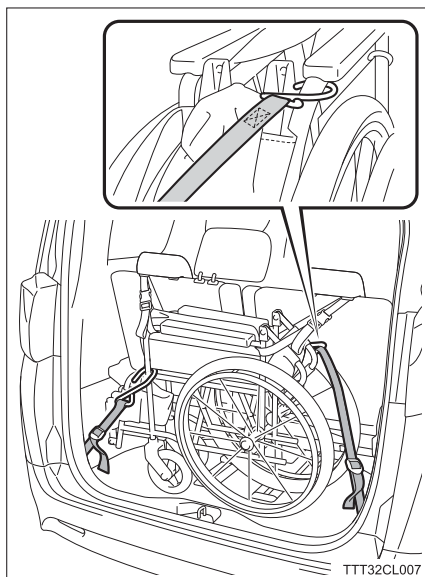


- 4 次の場所を目安に、車いす固定ベルト A を車いすに取り付ける

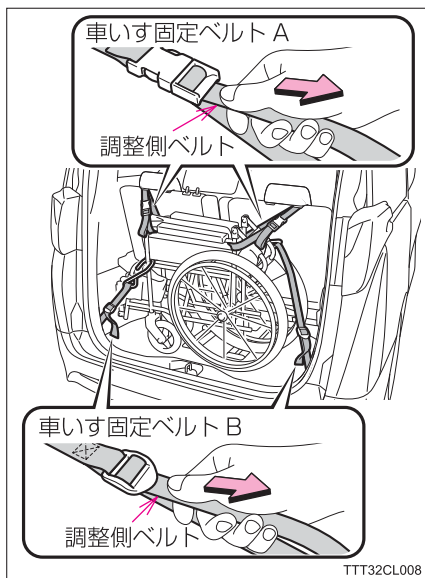
- ① 車いす固定ベルト A を車いすのフレームに通し、プレートをバックルに挿し込む
- ② 調整側ベルトを引っ張り、車いすを仮固定する



- 5 車いす固定ベルトBのフックを、車いすの奥側のハンドル付け根およびフレームを目安に引っかける

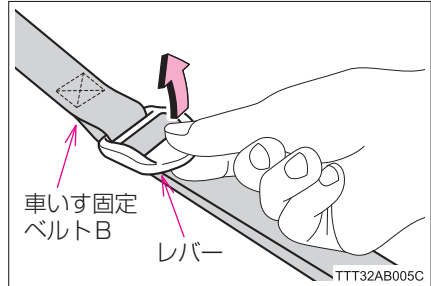


- 6 車いす固定ベルトA、Bの調整側ベルトを引っ張り、車いすを確実に固定する



解除のしかた

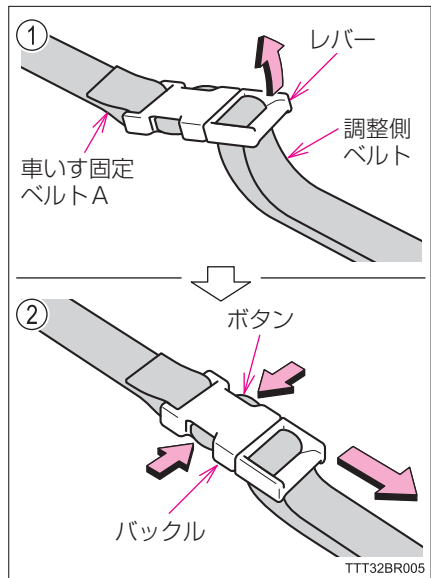
- 1 車いす固定ベルトBのバックルのレバーを引き上げ、車いす固定ベルトBをゆるめる（2本とも）



- 2 車いすを手で支えながら、車いす固定ベルトBのフックを車いすから取りはずす（2本とも）

- 3 車いす固定ベルトAをゆるめる（2本とも）

- ① 車いす固定ベルトAのレバーを引き上げ、調整側ベルトをゆるめる
- ② バックルのボタンを押してロックを解除する



- 4 車いすを手で支えながら、車いす固定ベルトAを車いすから取りはずす（2本とも）

固定後、走行する前に

バックドアを閉める

バックドアを閉めるときは、車いすを挟み込まないこと、および車いすのハンドルなどがバックドアガラスにあたらないことを確認しながら、ゆっくりと閉めてください。

 **警告****■ 車いすを固定・解除するときは**

車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。
車いすが倒れて体にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ 車いすを固定したときは

固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込み、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ 損傷を防ぐために**

- 車いすを固定・解除するときは、車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。
車いすが倒れ、車いすや車両を損傷するおそれがあります。
- 車いす固定ベルトにねじれがないこと、鋭利な角部にあたっていないことを確認してください。
車いす固定ベルトを正しくかけないと、車いす固定ベルトが切れるおそれがあります。
- 車いす固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。
 - ・ バックドアを閉めるとき、バックドアおよびバックドアガラスと車いすがあたるおそれがあります。
 - ・ 走行中に車いすがサードシートやバックドアなどにあたり、車いすや車両を損傷するおそれがあります。
- バックドアはゆっくりと閉めてください。
バックドアをいきおいよく閉めると、車いすがバックドアなどにあたり、損傷するおそれがあります。
- サードシートを後方スライドまたはリクライニング操作する場合は車いす固定後、バックドアを閉めた状態で、車いすがサードシートやバックドアなどにあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。
 - ・ 車いすがサードシートやバックドアなどにあたり、車いすや車両を損傷するおそれがあります。
 - ・ 後方スライドまたはリクライニング操作後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。

お手入れのしかた

4

4-1. お手入れのしかた

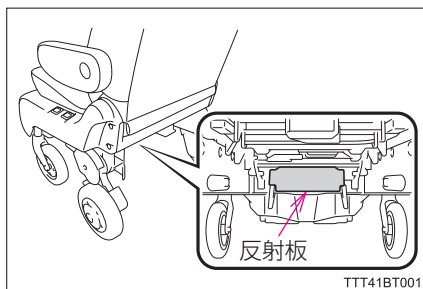
サイドリフトアップシート・
リフターの手入れ..... 96

サイドリフトアップシート・リフターの手入れ

ウェルキャブ（サイドリフトアップシート車 - 脱着タイプ）の装備の手入れは、次のように行ってください。

サイドリフトアップシートの反射板の手入れ

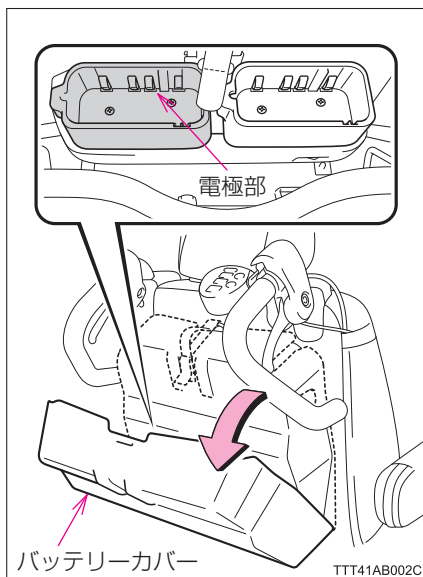
反射板が汚れている場合は、水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふき取る



サイドリフトアップシートの電極部の手入れ（電動式）

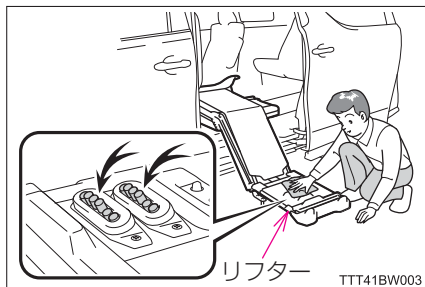
電動式にお乗りの方は、電極部について次のように手入れを行ってください。

- ① バッテリーカバーを開ける（→ P.77）
- ② バッテリーを挿し込み口から取りはずす（→ P.78）
- ③ 左側の電極部が水ぬれしていたら乾いた布でふき取り、異物・汚れなどがあった場合は取り除く



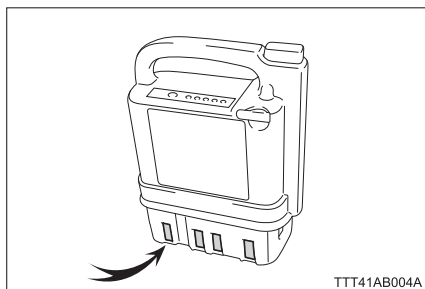
リフターの手入れ

サイドリフトアップシートを降ろした状態で、電極部が水ぬれしていたら乾いた布でふき取り、異物・汚れなどがあった場合は取り除く



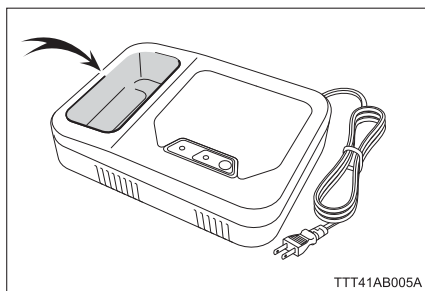
バッテリーの手入れ（電動式）

バッテリーの接続部が水ぬれしていたら乾いた布でふき取り、異物・汚れなどがあった場合は取り除く



充電器の手入れ（電動式）

充電器の挿し込み口が水ぬれしていたら乾いた布でふき取り、異物・汚れなどがあった場合は取り除く



万一の場合には

5

- 5-1. 故障かな？と
お考えになる前に
 - ヒューズの交換 100
 - サイドリフトアップシート・
リフターが動かない
ときは 102
- 5-2. 緊急時の対処法
 - サイドリフトアップシート・
リフターが車外に出た
状態で動かないときは 104

ヒューズの交換

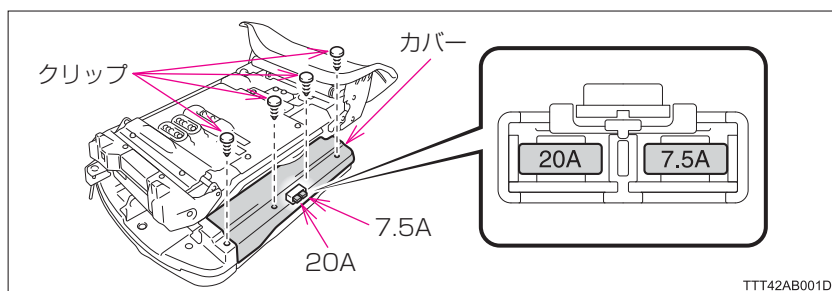
スイッチを押してもサイドリフトアップシート・リフターが動かないときは、ヒューズ切れが考えられます。

ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

ヒューズ位置

■ リフター左側下部

クリップ4本を取りはずし、カバーをはずします。



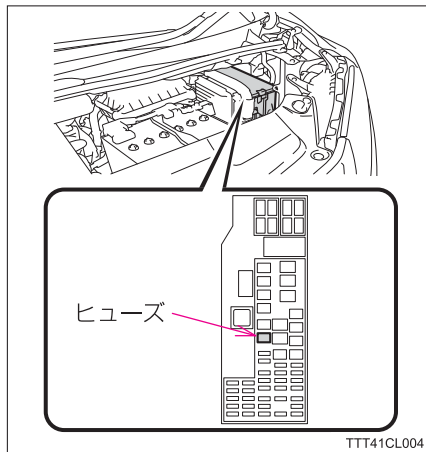
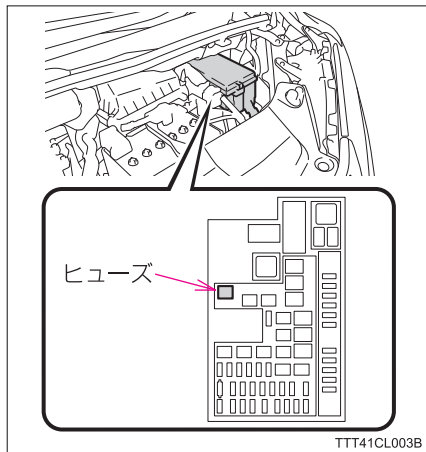
アンペア数	使用装置
7.5A、20A	サイドリフトアップシート
	リフター

■ エンジンルーム内左側ヒューズボックス

ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱書の「ヒューズの点検・交換」をお読みください。

▶ 2AR-FE エンジン搭載車／
2AR-FXE エンジン搭載車

▶ 2GR-FE エンジン搭載車



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
WELCAB	30A	サイドリフトアップシート
		リフター

☐ 知識

■ ヒューズを交換したあとは

次の場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換してもサイドリフトアップシート・リフターが動かないとき

⚠ 警告

■ 車の故障や火災を防ぐために

次のことをお守りください。
お守りいただかないと車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しない
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用する
- ヒューズやヒューズボックスを改造しない

サイドリフトアップシート・リフターが動かないときは

次の処置をしてください。

作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。(→ P.32)

センサー光の感知範囲の確認

サイドリフトアップシートをリフターから引き出しているときは、サイドリフトアップシートがリフターのセンサー光の感知範囲内にないことを確認してください。(→ P.48)

ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たし、リフターから引き出したサイドリフトアップシートがリフターのセンサー光の感知範囲外にあっても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P.100)

作動条件・センサー光の感知範囲の確認およびヒューズの点検・交換をしても動かない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
修理が完了するまで、絶対にサイドリフトアップシート・リフターを使用しないでください。

■ 車内に入った状態で動かない場合

そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 車外に出た状態で動かない場合

リセット(→ P.104)しても動かない場合は、トヨタ販売店または専門業者にP.112「スイッチを押してもサイドリフトアップシート・リフターが動かないとき」の操作をご依頼ください。

 知識

■ 車両のバッテリー〈補機バッテリー〉の取り扱いについて

→ P.18

サイドリフトアップシート・リフターが車外に出た状態で動かないときは

万一、サイドリフトアップシート・リフターが回転または昇降途中で動かなくなってしまったときは、助手席側スライドドアを閉めることができません。

作動条件・センサー光の感知範囲の確認およびヒューズの点検・交換（→P.100）または、リセットしても動かない場合は、トヨタ販売店または専門業者にP.112「スイッチを押してもサイドリフトアップシート・リフターが動かないとき」の操作をご依頼ください。

サイドリフトアップシート・リフターをリセットする前に

サイドリフトアップシートに座っている乗員がいる場合は、乗員を安全な場所に移動させてから作業を行ってください。

リセットについて

サイドリフトアップシート・リフターが動かなくなったときは、次の手順でリセットを行ってください。

■ サイドリフトアップシートがリフターに装着されている場合

- 1 操作前に、次の状態を確認する
 - ・ サイドリフトアップシートのシートベルトが着用状態になっていないこと
 - ・ 助手席側スライドドアが全開になっていること
 - ・ 助手席シートの状態（→P.35, 36）
 - ・ 助手席側サードシートに乗員がいないこと
- 2 サイドリフトアップシートを次の状態にする
 - ・ ヘッドレストおよびアームレストをいちばん下げた状態にする（→P.23, 25）
 - ・ フットレストをいちばん上げた状態にする（→P.27）

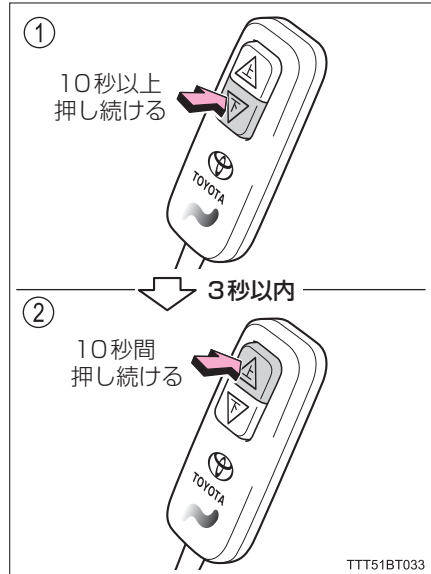
3 操作スイッチを次のように押し続ける

① 操作スイッチの「下」を10秒以上押し続ける

サイドリフトアップシート・リフターが下降作動しなくなってから10秒経過すると“ピッ”とブザーが鳴ります。

② ①のブザーが鳴ってから3秒以内に操作スイッチの「上」を10秒間押し続ける

“ピッ”とブザーが鳴ります。ブザーのあと、10秒以内に**4**を実施します。

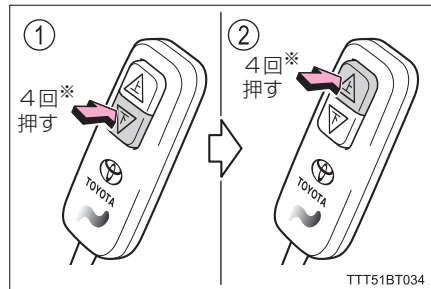


4 操作スイッチを次のように押す

① 「下」を4回押す

② 「上」を4回押す

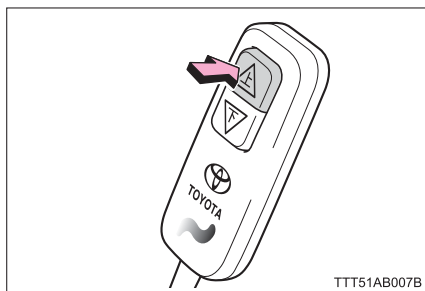
- ・ 正しく押すと“ピッピー”とブザーが鳴ります。
- ・ 10秒以内にスイッチを押し終わらなかったり、正しいスイッチを押さなかった場合、“ピー”とブザーが鳴ります。**3**のスイッチ操作からやり直してください。



※：先に「上」を4回押してから「下」を4回押しても操作できます。

5 操作スイッチの「上」を押し続ける

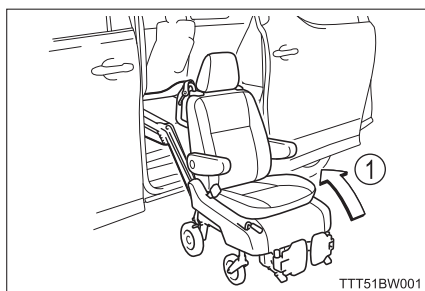
- ・ サイドリフトアップシート・リフターの作動が停止した場合は、スイッチを押し直してください。
- ・ スイッチを押してもサイドリフトアップシート・リフターが動かないときは、トヨタ販売店または専門業者にP.112「スイッチを押してもサイドリフトアップシート・リフターが動かないとき」の操作をご依頼ください。



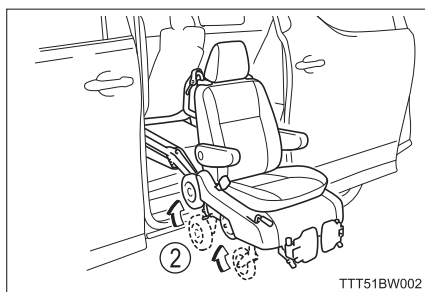
※：5～7の一連の作動中にリセット解除条件が成立すれば、「ピー」とブザーが鳴り、通常モードに復帰します。(通常作動とは異なります)

① サイドリフトアップシートが少し上昇する

車輪が格納できる位置で上昇が停止します。

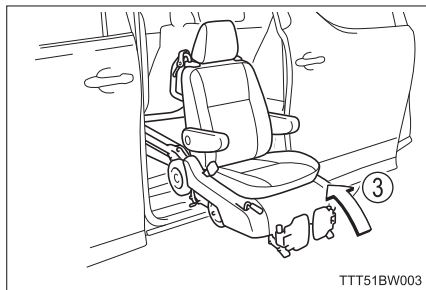


② サイドリフトアップシートの車輪が格納される



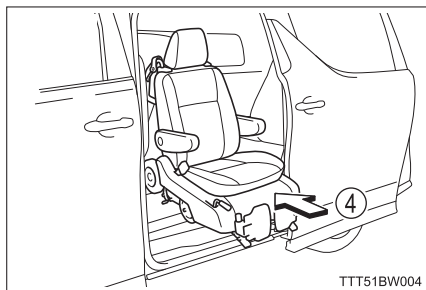
- ③ 車輪の格納が完了すると、サイドリフトアップシートが再び上昇する

上昇完了すると、サイドリフトアップシートが少し手前にスライドします。



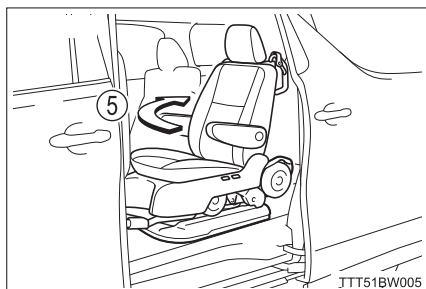
- ④ サイドリフトアップシートが車内にスライドする

背もたれが起きます。



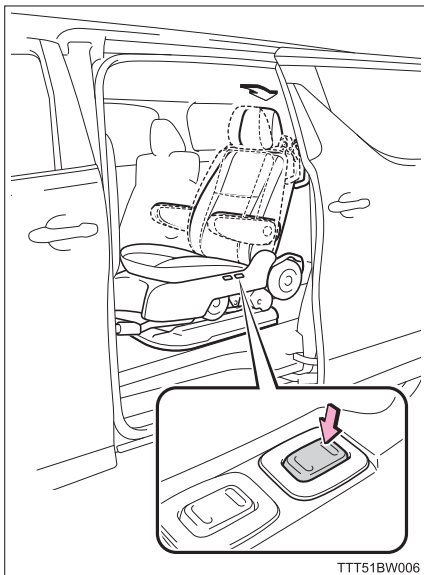
- ⑤ サイドリフトアップシートが後方にスライドしながら格納方向に回転する

サイドリフトアップシートが停止するまでスイッチを押し続けます。



- 6 シートリクライニングスイッチのうしろ側を押し、サイドリフトアップシートの背もたれがうしろ側へ倒れ始め、自動的に停止するまでスイッチを押し続ける

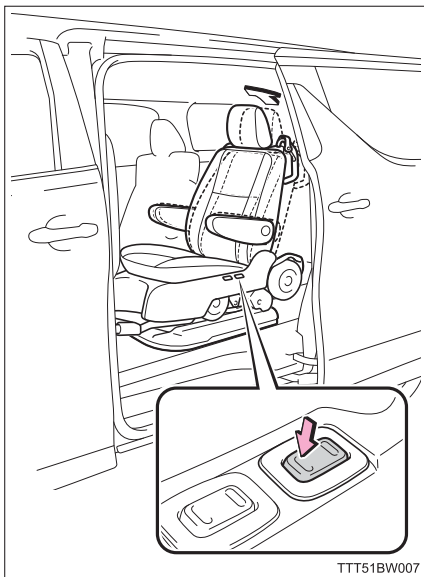
シートリクライニングスイッチを押ししても背もたれが動かない場合は、操作スイッチの「上」を押し続け、サイドリフトアップシートが停止するまで回転させてから、再度シートリクライニングスイッチ操作を行います。



TTT51BW006

- 7 シートリクライニングスイッチの前側を押し、サイドリフトアップシートの背もたれが前側へ起き始め、自動的に停止するまでスイッチを押し続ける

背もたれの作動が停止し、“ピー”とリセット解除ブザーが鳴るまでスイッチを押し続けます。



TTT51BW007

- 8 リセット解除ブザーが鳴りやんでから各スイッチ操作を行い、サイドリフトアップシート・リフターが通常作動することを確認する

スイッチを押してもサイドリフトアップシート・リフターが動かない、または通常作動にもどっていないときは、そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ サイドリフトアップシートがリフターに装着されていない場合

1 操作前に、次の状態を確認する

- ・ 助手席側スライドドアが全開になっていること
- ・ 助手席側サードシートに乗員がいないこと

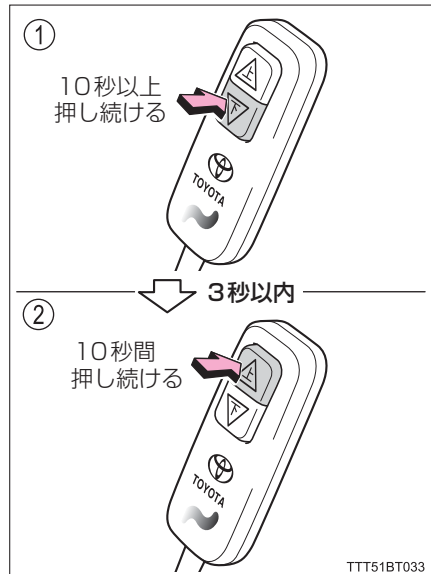
2 操作スイッチを次のように押し続ける

① 操作スイッチの「下」を10秒以上押し続ける

リフターが下降作動しなくなつてから10秒経過すると“ピッ”とブザーが鳴ります。

② ①のブザーが鳴ってから3秒以内に操作スイッチの「上」を10秒間押し続ける

“ピッ”とブザーが鳴ります。このあと、10秒以内に③を実施します。

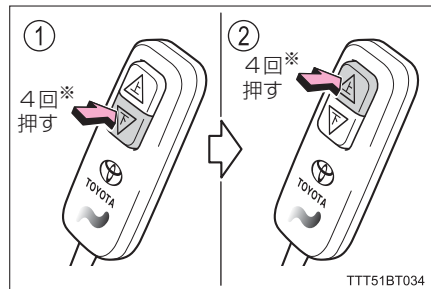


3 操作スイッチを次のように押す

① 「下」を4回押す

② 「上」を4回押す

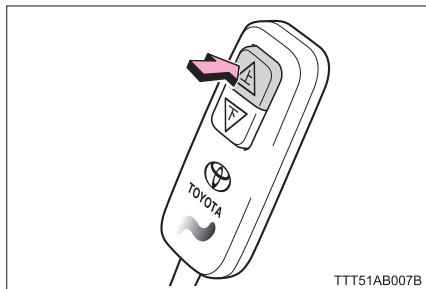
- ・ 正しく押すと“ピッピー”とブザーが鳴ります。
- ・ 10秒以内にスイッチを押し終わらなかつたり、正しいスイッチを押さなかつた場合、“ピー”とブザーが鳴ります。②のスイッチ操作からやり直してください。



※：先に「上」を4回押してから「下」を4回押しても操作できます。

4 操作スイッチの「上」を押し続ける

- ・ リフターの作動が停止した場合は、スイッチを押し直してください。
- ・ スイッチを押してもリフターが動かないときは、トヨタ販売店または専門業者にP.112「スイッチを押してもサイドリフトアップシート・リフターが動かないとき」の操作をご依頼ください。

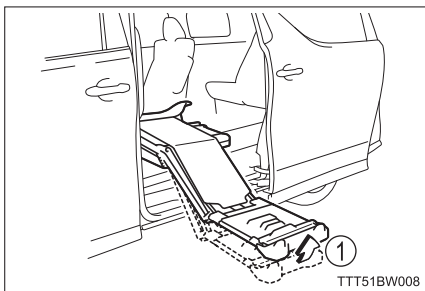


TTT51AB007B

※：一連の作動中にリセット解除条件が成立すれば、“ピー”とブザーが鳴り、通常モードに復帰します。(通常作動とは異なります)

① リフターが少し上昇し、少しのあいだ停止する

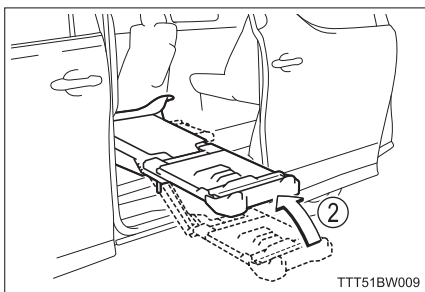
リフター停止中も操作スイッチの「上」を押し続けてください。



TTT51BW008

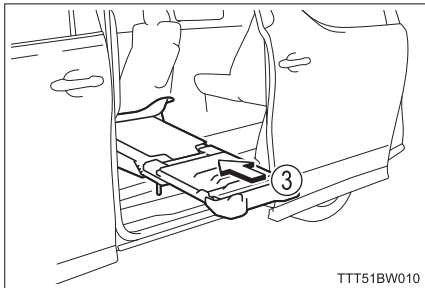
② しばらくするとリフターが再び上昇する

上昇完了すると、リフターが少し手前にスライドします。



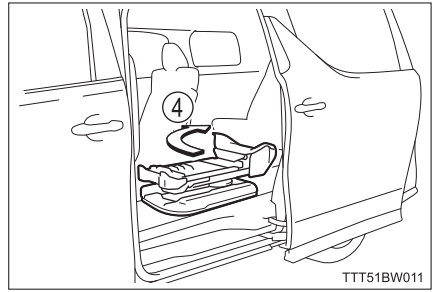
TTT51BW009

③ リフターが車内にスライドする



TTT51BW010

- ④ リフターが後方にスライドしながら格納方向に回転する
リフターが停止し、“ピー” とリセット解除ブザーが鳴るまでスイッチを押し続けます。



- ⑤ リセット解除ブザーが鳴りやんでから各スイッチ操作を行い、リフターが通常作動することを確認する
スイッチを押してもリフターが動かない、または通常作動にもどっていないときは、サードシートを格納し（→標準車取扱書の「シートアレンジ」）、サイドリフトアップシートをラゲージルームに格納してください。格納後、そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

スイッチを押してもサイドリフトアップシート・リフターが動かないとき

作動条件・センサー光の感知範囲の確認およびヒューズの点検・交換（→P.100）または、リセットしても動かない場合は、トヨタ販売店または専門業者に下記の操作をご依頼ください。

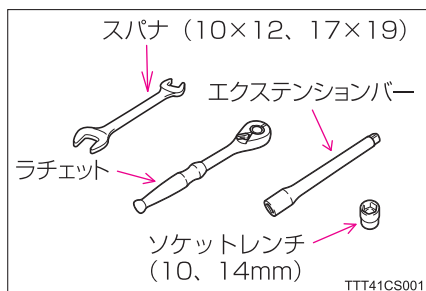
下記の操作は、緊急時の対処法です。

操作を行ったあとは、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。サイドリフトアップシート・リフターの状態により、操作方法が異なります。サイドリフトアップシート・リフターの状態をご確認いただき、それぞれの状態にあった要領で格納してください。

- サイドリフトアップシートがリフターから取りはずせる場合 P.112
- サイドリフトアップシートがリフターから取りはずせない場合 P.115

■ 使用工具について

サイドリフトアップシート・リフターを手動で車内にもどすときは、次の工具を使用します。



■ サイドリフトアップシートがリフターから取りはずせる場合

サイドリフトアップシートが車内にスライド完了していない位置であれば、サイドリフトアップシートをリフターから取りはずすことができます。

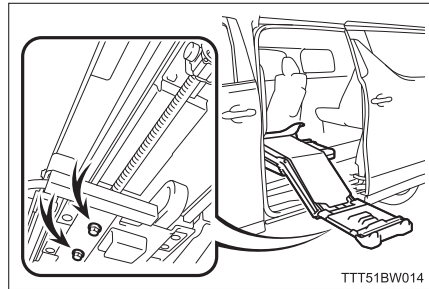
- 1 2人以上でサイドリフトアップシート全体を持ち上げ、リフターから取りはずす

サイドリフトアップシート前端を持ち上げてから、サイドリフトアップシート全体を持ち上げます。



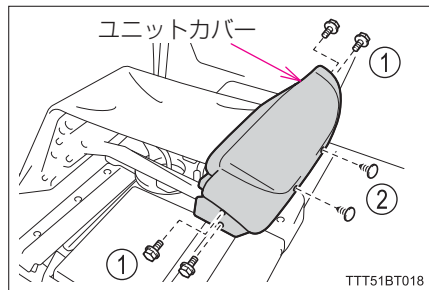
- 2 サードシートを格納し (→標準車取扱書の「シートアレンジ」)、サイドリフトアップシートを車内に格納する
- 3 助手席シートをいちばん前までスライドさせ、背もたれを起こした状態にする (→標準車取扱書の「フロントシート」)

- 4 リフター下部にあるボルト (14mm) 2本をソケットレンチ、エクステンションバー、ラチェットを使用して取りはずす



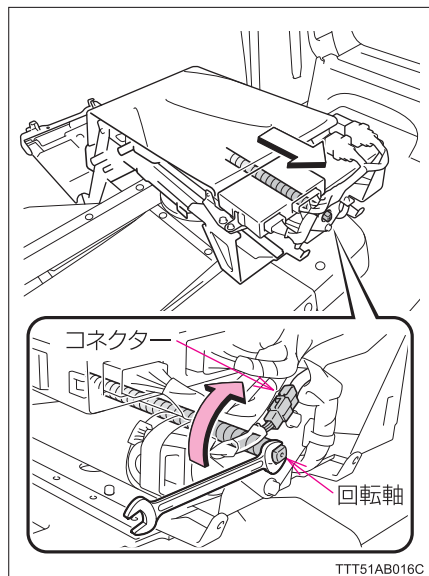
- 5 クリップ2本・ユニットカバーのボルト (10mm) 4本 (左右各2本) をソケットレンチ、エクステンションバー、ラチェットを使用して取りはずし、ユニットカバーを取りはずす

- ① ボルト
- ② クリップ



- 6 コネクターをはずしてから昇降モーターの回転軸 (10mm) をスパナを使用して右にまわし、リフターを上昇させる

回転軸がまわらなくなるまでまわし、リフターを完全に上昇させたあと、回転軸を左にまわし、約 50mm 下降させます。

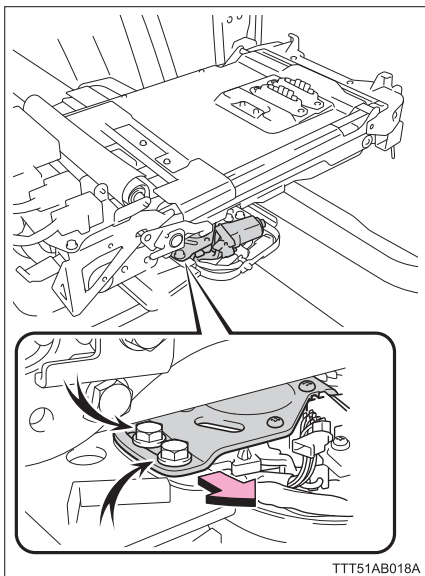


- 7 リフターを車内にスライドさせる

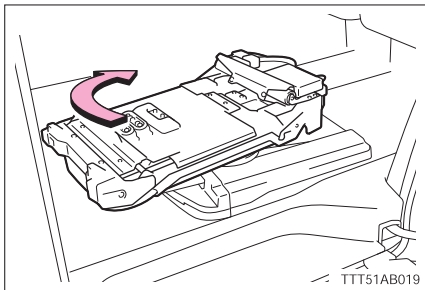


- 8 昇降モーターの回転軸（10mm）をスパナを使用して右にまわし、まわらなくなるまでリフターを上昇させる

- 9 回転モーターのボルト（12mm）2本をスパナを使用してゆるめ、回転モーターをずらし、ギヤのかみ合いをはずす

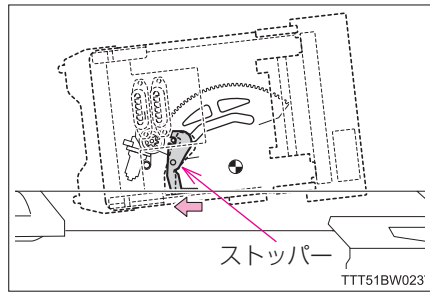


- 10 リフターを車内に回転させる



- 11 ストッパーを押してロックを解除し、リフターを車内に回転させる

回転完了すると、リフターはその位置で固定されます。

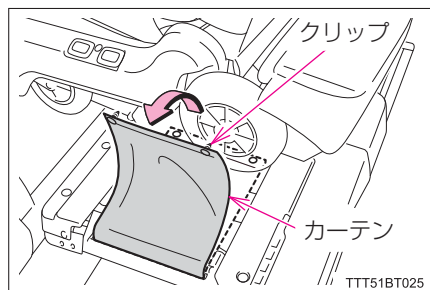


- 12 助手席側スライドドアを閉める

- ・リフターが通常の格納完了位置ではないため、助手席側スライドドアを全開位置から動かすとブザーが鳴ります。すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- ・リフターが通常の格納完了位置ではないため、パワースライドドアスイッチで助手席側スライドドアを閉めることができません。パワースライドドアメインスイッチを OFF にして、手でスライドドアを閉めてください。(→標準車取扱書の「スライドドア」)

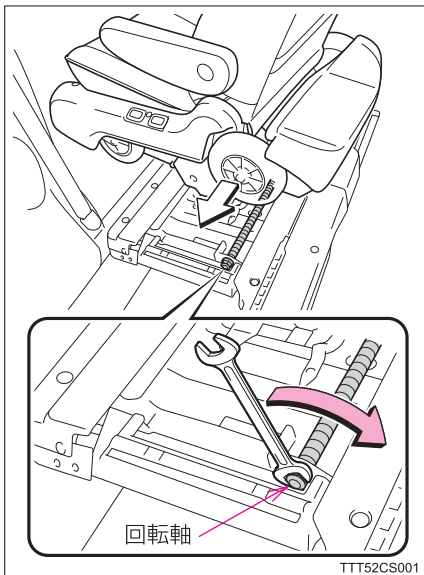
■ サイドリフトアップシートがリフターから取りはずせない場合

- 1 操作前に、助手席側サードシートに乗員がいないことを確認する
- 2 助手席シートをいちばん前までスライドさせ、背もたれを起こした状態にする (→標準車取扱書の「フロントシート」)
- 3 サイドリフトアップシートを次の状態にする
 - ・ヘッドレストおよびアームレストをいちばん下げた状態にする (→P.23, 25)
 - ・フットレストをいちばん上げた状態にする (→P.27)
- 4 リフター格納部のカーテンのクリップ2本をはずし、カーテンを巻き取る

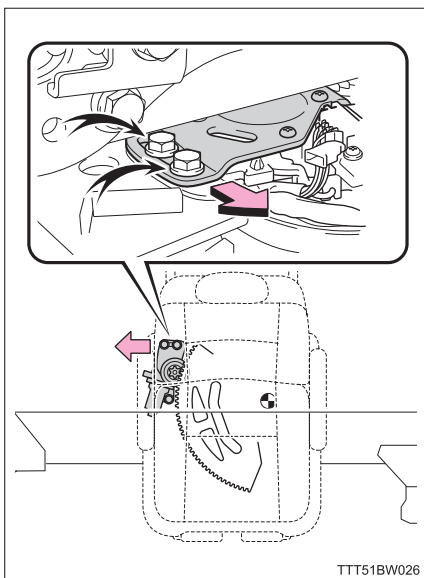


- 5 前後スライドモーターの回転軸 (19mm) をスパナを使用して右にまわし、サイドリフトアップシートを後方にスライドさせる

- ・ サイドリフトアップシートが助手席側スライドドアにあたらぬ位置まで後方にスライドさせます。
- ・ 回転軸を左にまわすと、サイドリフトアップシートが前方にスライドします。

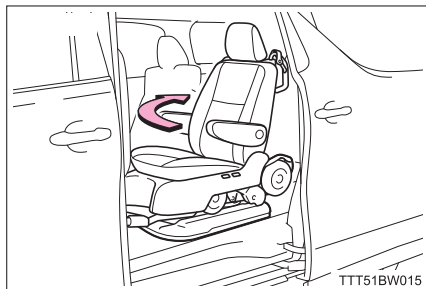


- 6 回転モーターのボルト (12mm) 2本をスパナを使用してゆるめ、回転モーターをずらし、ギヤのかみ合いをはずす

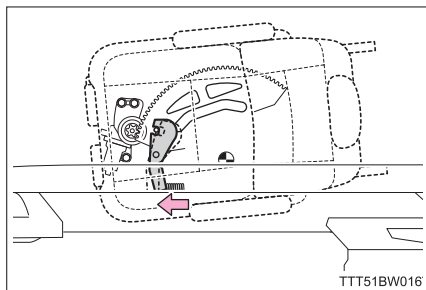


7 サイドリフトアップシートを車内に回転させる

サイドリフトアップシートがドア開口部にあたる場合は**5**と交互に行い、回転させられる位置まで回転させます。

**8** ストッパーを押してロックを解除し、サイドリフトアップシートを車内に回転させる

回転完了すると、サイドリフトアップシートはその位置で固定されます。

**9** 助手席側スライドドアを閉める

- ・ サイドリフトアップシートが通常の格納完了位置ではないため、助手席側スライドドアを全開位置から動かすとブザーが鳴ります。すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- ・ サイドリフトアップシートが通常の格納完了位置ではないため、パワースライドドアスイッチで助手席側スライドドアを閉めることができません。パワースライドドアメインスイッチをOFFにして、手動でスライドドアを閉めてください。(→標準車取扱書の「スライドドア」)

 知識■ **ブザーについて**

サイドリフトアップシートを車内に格納する途中、助手席側スライドドアを全開位置から動かすと、“ピーピー…”とブザーが鳴ります。(→ P.38)

■ **紛失を防ぐために**

取りはずした部品は袋に入れるなどして、紛失しないようにしてください。

 **警告**■ **修理が完了するまでは**

サイドリフトアップシートに座らないでください。

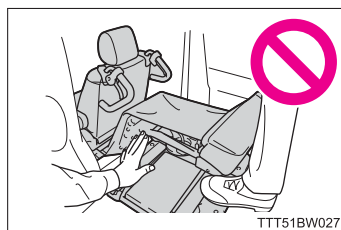
■ **サイドリフトアップシートをリフターから取りはずすときは**

必ず2人以上で行い、足元に十分注意してください。

- 1人で行くと腰をいためるおそれがあります。
- サイドリフトアップシートを落下させるとサイドリフトアップシートに挟まれけがをしたり、サイドリフトアップシートが損傷するおそれがあります。

■ **サイドリフトアップシート・リフターを手動で格納するときは**

- サイドリフトアップシート・リフター格納スペースに手や足を入れないでください。
サイドリフトアップシート・リフター可動部などで手や足を挟み、けがをす
るおそれがあります。



- 工具を使用したあとは、所定の場所に確実に保管してください。
車室内などに放置すると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、
工具が飛んできて乗員にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険
です。

点検・整備項目

6

6-1. 点検・整備項目

定期点検整備 120

定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために、定期点検整備をお願いします。
点検結果を記録する際には、巻末の記録簿を A4 サイズにコピーして使用してください。

点検整備項目	点検時期		交換時期 (年)	備考	
	日	自家用車			
		12 か 月 ごと			24 か 月 ごと
リフター	スイッチ作動状態（引っかかり・異音がないこと）				
	操作スイッチ	○			サイドリフトアップシート搭載時についても点検
	収納・下降後のロック状態	○			ガタ（異音）がないこと
サイドリフトアップシート	スイッチ作動状態（引っかかり・異音がないこと）				
	操作スイッチ	○	○		
	シート前後スライドスイッチ	○	○		
	シートリクライニングスイッチ	○	○		
	収納・下降後のロック状態	○			ガタ（異音）がないこと
ブレーキ	ブレーキ				
	介助ブレーキ	○			効き具合
	フロントハンドブレーキ	○			ワイヤーの伸び・変形がないこと
	車輪		○		損傷・ガタ・ゆるみがないこと

※：空欄については点検および交換の必要はありません。

消耗部品

次の部品は使用頻度・経年変化などにより、消耗・劣化する部品です。点検時に摩耗や損傷状態を見て早めに交換してください。

交換作業はトヨタ販売店にお申し付けください。

消耗部品
サイドリフトアップシート用車輪、介助ブレーキ用ブレーキワイヤー、サイドリフトアップシート（脱着タイプ〈電動式〉）用バッテリー

さくいん

こんなときは (症状別さくいん)	124
車から音が鳴ったときは (音さくいん)	128
五十音順さくいん	130

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

スライドドアの開閉ができない



助手席側スライドドアが全開できない

- 給油口が開いていませんか？（→ P.45）



ブザーが鳴り、助手席側スライドドアが自動で閉まらない

- サイドリフトアップシート・リフター格納時のロックが不完全です。（→ P.48）

サイドリフトアップシート・リフターについて



サイドリフトアップシートの前後位置・リクライニング調整ができない

- サイドリフトアップシート・リフターは車内に完全格納されていますか？（→ P.20, 57）



サイドリフトアップシート・リフターの回転・昇降操作ができない

- サイドリフトアップシートでシートベルトを着用していませんか？（→ P.32, 34）
- 助手席側スライドドアが全開されていますか？（→ P.32, 42, 49, 50）



サイドリフトアップシート・リフターが少し反転して停止した

- サイドリフトアップシート・リフターが回転中、障害物にあたっていませんか？（→ P.37）

**サイドリフトアップシート・リフターが動かない、または作動中に停止した**

- サイドリフトアップシートの背もたれに大きな負荷がかかっていませんか？（→ P.37）
- 断続的にスイッチを押していませんか？（→ P.33）
- 引き出したサイドリフトアップシートがリフターのセンサー光の感知範囲内にありませんか？（→ P.48）
- ヒューズが切れていませんか？（→ P.100）
- サイドリフトアップシート・リフター操作中に車両のバッテリー〈補機バッテリー〉をはずしていませんか？（→ P.18）
サイドリフトアップシート・リフター操作中に車両のバッテリー〈補機バッテリー〉をはずしたときは、リセット操作が必要になります。（→ P.104）

**サイドリフトアップシート下降中、“ピー”とブザーが鳴ってサイドリフトアップシートが停止した**

- サイドリフトアップシートの車輪が下降途中に障害物などにあたり、サイドリフトアップシートとリフターのセット位置がずれています。（→ P.45）

**サイドリフトアップシート上昇中、“ピー”とブザーが鳴ってサイドリフトアップシートが停止した・少し上昇して停止した**

- サイドリフトアップシートとリフターのセット状態が不完全です。（→ P.57）

**フットレストの黄色マークが見えた状態で“ピー”とブザーが鳴り、昇降途中に停止した**

- フットレストに力がくわわっています。（→ P.45, 57）

**サイドリフトアップシートがリフターから引き出せない**

- フロントハンドブレーキが押された状態になっていませんか？（→ P.59）
- リフターが完全に下降していますか？（→ P.43, 45）



サイドリフトアップシートをリフターにセットできない

- リフターが完全に下降していますか？（→ P.49, 51）

サイドリフトアップシート（脱着タイプ〈電動式〉）のバッテリーについて



フル充電後の走行距離が短い

- 地形や温度、充電方法により、走行距離が短くなる場合があります。（→ P.72）



バッテリー残量が自然に減る

- 自己放電による現象です。（→ P.73）



バッテリーの充電が始まらない（充電中ランプ点滅）

- バッテリー保護のためバッテリー温度が0～40℃以外のときは充電を開始しません。（→ P.72）



充電完了しても容量表示ランプがすべて点灯しない

- バッテリーの劣化による現象です。（→ P.74）



バッテリーの容量表示が不正確

- リフレッシュ充電のお知らせが出ていても充電し続けていませんか？（→ P.76）
リフレッシュ充電をしてください。（→ P.70）



リフレッシュ充電が終わらない

- リフレッシュ充電は通常3～13時間かかります。（→ P.73）



バッテリー・充電器のランプが異常点滅する

- 充電中、バッテリーか充電器に異常が発生しています。（→ P.71）

故障かな？と思ったら



ブザーが鳴りだした

- 「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（P.128）をご確認ください。



コントロールパネル※またはジョイスティック※を操作してもサイドリフトアップシートが動かない

- サイドリフトアップシートがリフターから完全に取りはずされていますか？（→ P.43, 44）
- サイドリフトアップシートの後輪のブレーキが解除されていますか？（→ P.59）
- サイドリフトアップシートにバッテリーが装着されていますか？（→ P.77）
- 手動／電動切替スイッチが「電動」になっていますか？（→ P.61）
- コントロールパネルおよびジョイスティックの電源が入っていますか？（→ P.62, 63）
- バッテリーあがりではありませんか？（→ P.65, 68）

車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤作動などをお知らせするためにブザーが鳴ります。

サイドリフトアップシート・リフター操作時

状況	原因	詳細
操作スイッチを押したとき	サイドリフトアップシート・リフター作動開始	P.42 P.47 P.49 P.55
サイドリフトアップシート・リフターが上昇または下降時に停止したとき	サイドリフトアップシート・リフターが車外に下降時、サイドリフトアップシートが脱着できる位置を検知	P.43 P.49
	サイドリフトアップシート・リフターが車内に格納完了	P.47 P.56
	サイドリフトアップシートとリフターのセット状態が不完全	P.45 P.57
操作スイッチを押してもサイドリフトアップシート・リフターが動かないとき	サイドリフトアップシートでシートベルトを着用したまま操作スイッチを押している	P.32
	助手席側スライドドアを全開にしないで操作スイッチを押している	P.32
サイドリフトアップシートのリクライニング作動が停止したとき	サイドリフトアップシートの背もたれに大きな負荷がかかるなどリクライニング作動がさまたげられた	P.37
サイドリフトアップシート・リフターが少し反転して停止したとき	サイドリフトアップシート・リフターが回転中、障害物にあたるなどサイドリフトアップシート・リフターの作動がさまたげられた	P.37

助手席側スライドドア操作時

状況	原因	詳細
パワースライドドアスイッチを押しても助手席側スライドドアが自動で閉まらないとき	サイドリフトアップシート・リフターが完全に格納されていない	P.48
助手席側スライドドアを手動で全開位置から動かしたとき	サイドリフトアップシート・リフターが完全に格納されていない	P.48

サイドリフトアップシート（脱着タイプ〈電動式〉）を車いすとして使用時

状況	原因	詳細
コントロールパネル／ジョイスティックの電源を入れて赤 LED が 1 回点滅したとき	電源 ON 状態	P.62 P.63
走行中にコントロールパネル／ジョイスティックの赤 LED が 4 回点滅したとき	サイドリフトアップシートのバッテリーあがり	P.65

五十音順さくいん

あ

アームレスト	25
安全なドライブのために	
車いすの固定について	17
サイドリフトアップシート	
(脱着タイプ) について	10
車両・車両のバッテリー	
〈補機バッテリー〉 について ..	18
安全にお使いいただくために	
チャイルドシート	81

お

お手入れのしかた	
サイドリフトアップシート・	
リフターの手入れ	96

き

緊急時の対処法	
サイドリフトアップシート・	
リフターが車外に出た	
状態で動かないときは	104

く

車いす	
解除のしかた	93
収納可能なサイズ	85
収納・固定のしかた	91
収納・固定前の準備	84
出し入れする前に	84
ラゲージルーム内に収納・固定	
しないときは	89
ラゲージルーム内に収納・固定	
するときは	89
車いす固定ベルト	87

こ

故障かな？とお考えになる前に	
サイドリフトアップシート・	
リフターが	
動かないときは	102
ヒューズの交換	100
コントロールパネル	
LED 表示部	62
各部の名称	60
サイドリフトアップシートを	
操作するときは	62
サイドリフトアップシートを	
操作する前に	61
手動による移動のしかた	64
前進／後進スイッチ	62
速度切替スイッチ	62
速度の切りかえ方	62
電源スイッチ	62
リフターにセットするときは ...	64

さ

サードシート	
助手席側サードシート	80
サイドリフトアップシート	
(脱着タイプ)	
アームレスト	25
動かないときは	102
車いすとして使用するときには...	59
故障かな？と	
お考えになる前に	100
コントロールパネル	60
作動条件	32
シート前後スライドスイッチ ..	20
シートベルト	29
シートリクライニング	
スイッチ	20
自動メモリー機能	57
車外に出すときは	42
車外に出た状態で	
動かないときは	104
車内にもどすときは	54
ジョイスティック	60
乗降操作のしかた	34
スイッチを押しても	
サイドリフトアップシート・	
リフターが動かないとき	112
操作スイッチ	32
操作をするときは	34
正しい乗車姿勢	30
調整	20
電極部の手入れ	96
反射板の手入れ	96
フットレスト	27
ヘッドレスト	23
リセットについて	104
リフターに押し込めない	
ときは	53
リフターへの装着	52

し

シート前後スライドスイッチ	20
シートベルト	29
シートリクライニングスイッチ ...	20
自動メモリー機能	57
車両のバッテリー〈補機バッテリー〉	
の取り扱いについて	18
充電器	
各部の名称	67
充電中ランプ	68
手入れ	97
電源コード	68
バッテリー挿し込み口	67
リフレッシュスイッチ	70
リフレッシュランプ	70
収納可能な車いすのサイズ	85
手動／電動切替スイッチ	61
手動車いす用固定装置	
解除のしかた	93
車いす固定ベルト	87
固定後、走行する前に	93
収納・固定のしかた	91
ジョイスティック	
LED表示部	63
各部の名称	60
サイドリフトアップシートを	
操作するときには	63
サイドリフトアップシートを	
操作する前に	61
手動による移動のしかた	64
速度スイッチ	63
速度の切りかえ方	63
電源スイッチ	63
リフターにセットするときには...	64
使用工具について	112
消耗部品	121

す

スイッチを押してもサイドリフト アップシート・リフターが 動かないとき	
サイドリフトアップシートが リフターから取りはずせない 場合.....	115
サイドリフトアップシートが リフターから取りはずせる 場合.....	112
Stop & Start システム	37

せ

セカンドシート	
運転席側セカンドシート.....	79

そ

走行性能	66
操作スイッチ	32

た

正しい乗車姿勢.....	30
--------------	----

ち

チャイルドシート	
トップテザーアンカーを 使用するときは	81

て

定期点検整備記録簿.....	巻末
点検・整備項目	
消耗部品.....	121
定期点検整備	120

と

トップテザーアンカー.....	81
-----------------	----

は

バッテリー	
各部の名称.....	67
サイドリフトアップシートからの 取りはずし	78
サイドリフトアップシートへの 取り付け.....	77
残量チェック	70
充電	68
充電が終了したら	69
充電中に異常が生じた ときは.....	71
接続部	97
長期保管.....	72
手入れ	97
取り扱い（車両のバッテリー 〈補機バッテリー〉）.....	18
ヒューズ.....	67, 71
表示スイッチ	70
保護キャップ.....	76
容量表示ランプ	69
予備ヒューズ.....	67, 71
リサイクル.....	72
リフレッシュ充電	70
リリースボタン	77
バッテリーカバー.....	77

ひ

ヒューズ	
位置	100
エンジンルーム内左側	
ヒューズボックス	101
リフター左側下部	100

ふ

ブザー	38
フットレスト	27
ブレーキ	
介助ブレーキ	59
フロントハンドブレーキ	59

へ

ヘッドレスト	23
--------------	----

ま

万一の場合には	99
---------------	----

り

リセットについて	104
リフター	
動かないときは	102
故障かな？と	
お考えになる前に	100
サイドリフトアップシートが	
押し込めないときは	53
サイドリフトアップシートの	
装着	52
作動条件	32
車外に出すときは	49
車外に出た状態で	
動かないときは	104
車内にもどすときは	47
スイッチを押しても	
サイドリフトアップシート・	
リフターが動かないとき	112
操作スイッチ	32
操作をするときは	34
手入れ	97
リセットについて	104

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp> にて掲載しております。

「リコール等情報」については、
<http://toyota.jp/recall/index.html> にて掲載して
おります。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>



M 58219
01999-58219
CT-2018年10月26日
2018年11月2日 初版
アルファード／ヴェルファイア
サイドリフトアップシート車-脱着タイプ